

保護者-23-4. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人 （あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市此花区の保護者全体では、「いる」が79.4%、「いない」が7.5%、「わからない」が12.6%、「無回答」が0.5%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が85.1%、「いない」が5.7%、「わからない」が8.9%、「無回答」が0.3%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が71.7%、「いない」が9.8%、「わからない」が17.7%、「無回答」が0.8%であった。

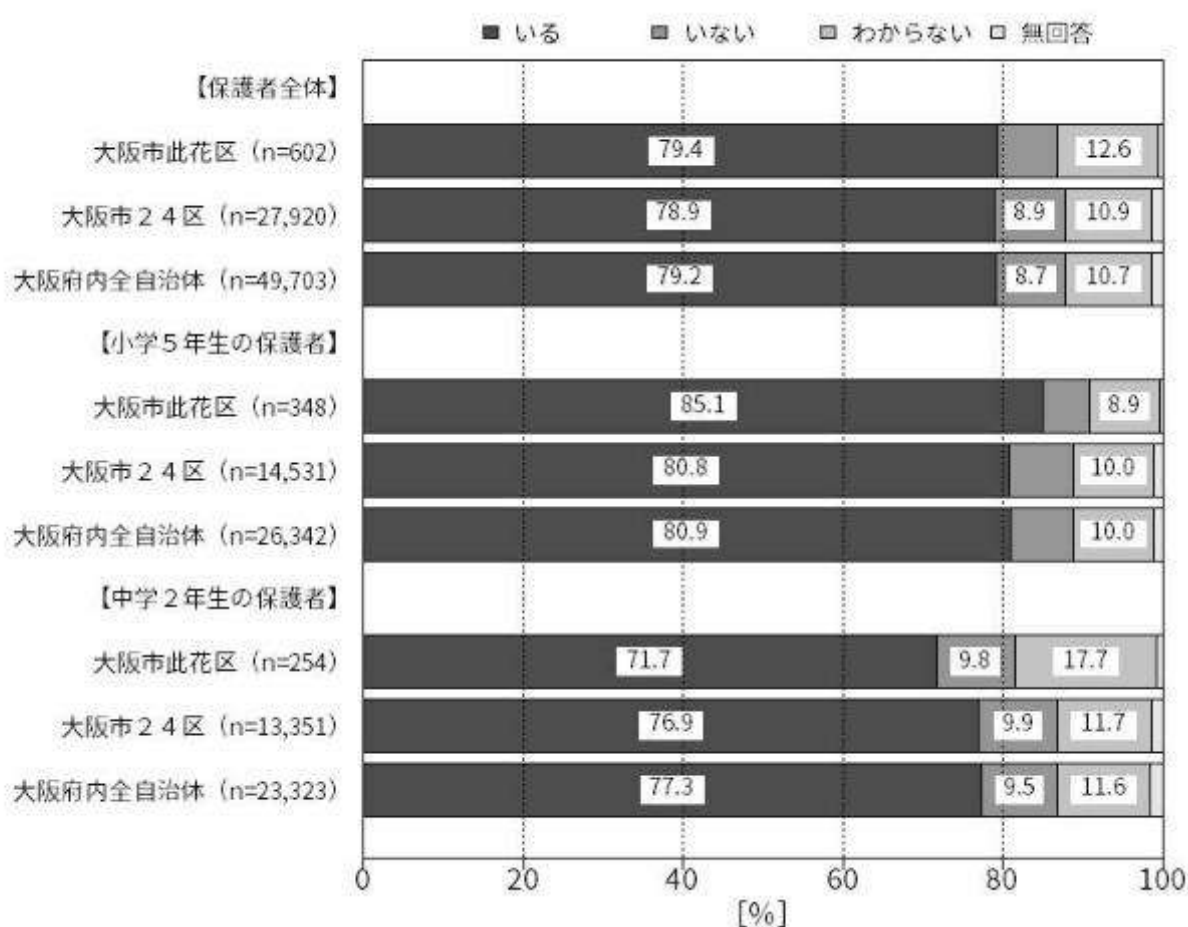


図 95. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者-23-5. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市此花区の保護者全体では、「いる」が 65.9%、「いない」が 15.1%、「わからない」が 18.3%、「無回答」が 0.7%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が 73.0%、「いない」が 11.8%、「わからない」が 14.7%、「無回答」が 0.6%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が 56.3%、「いない」が 19.7%、「わからない」が 23.2%、「無回答」が 0.8%であった。

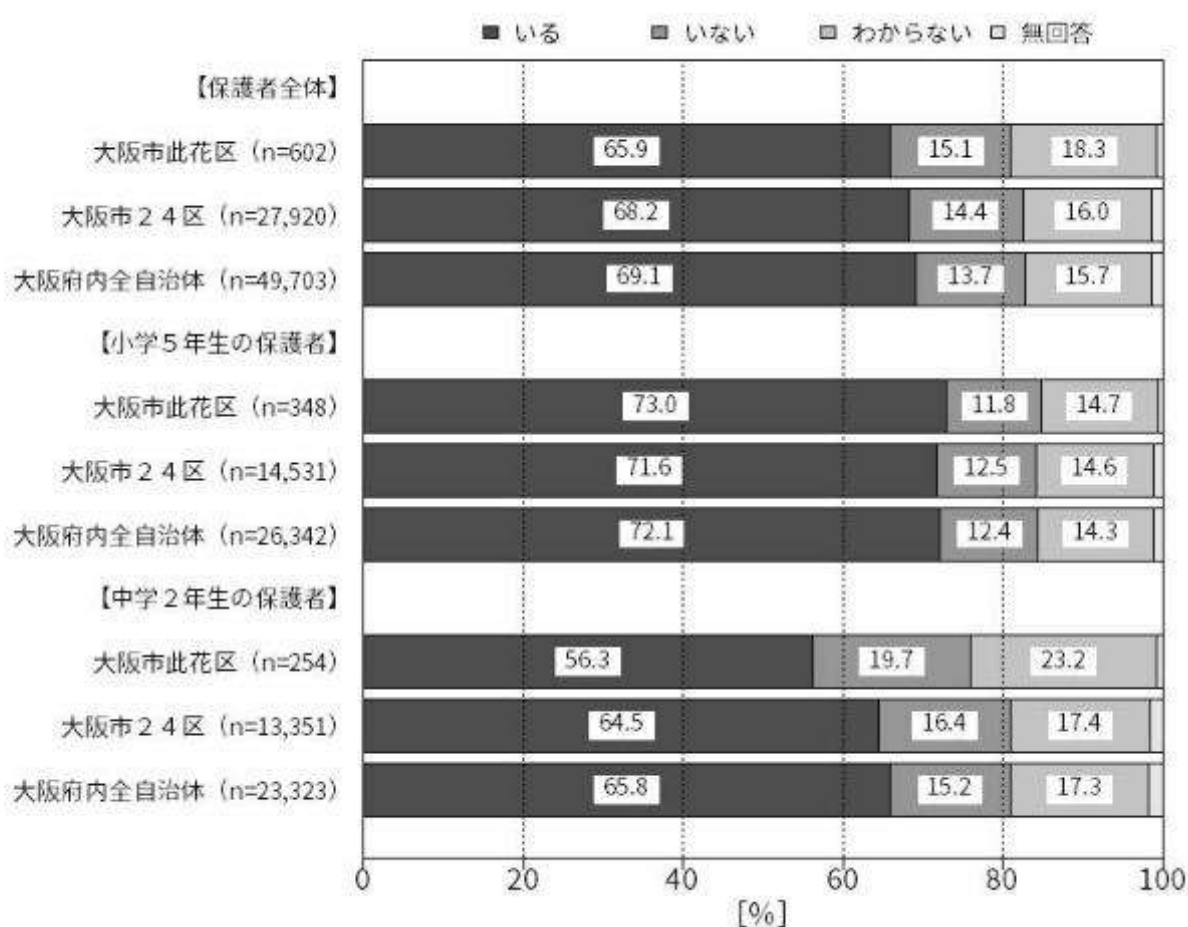


図 96. 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者-23-6. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人（あてはまる番号1つに○をつけてください）

大阪市此花区の保護者全体では、「いる」が72.9%、「いない」が23.4%、「わからない」が3.2%、「無回答」が0.5%であった。

小学5年生の保護者では、「いる」が77.9%、「いない」が20.1%、「わからない」が1.7%、「無回答」が0.3%であった。

中学2年生の保護者では、「いる」が66.1%、「いない」が28.0%、「わからない」が5.1%、「無回答」が0.8%であった。

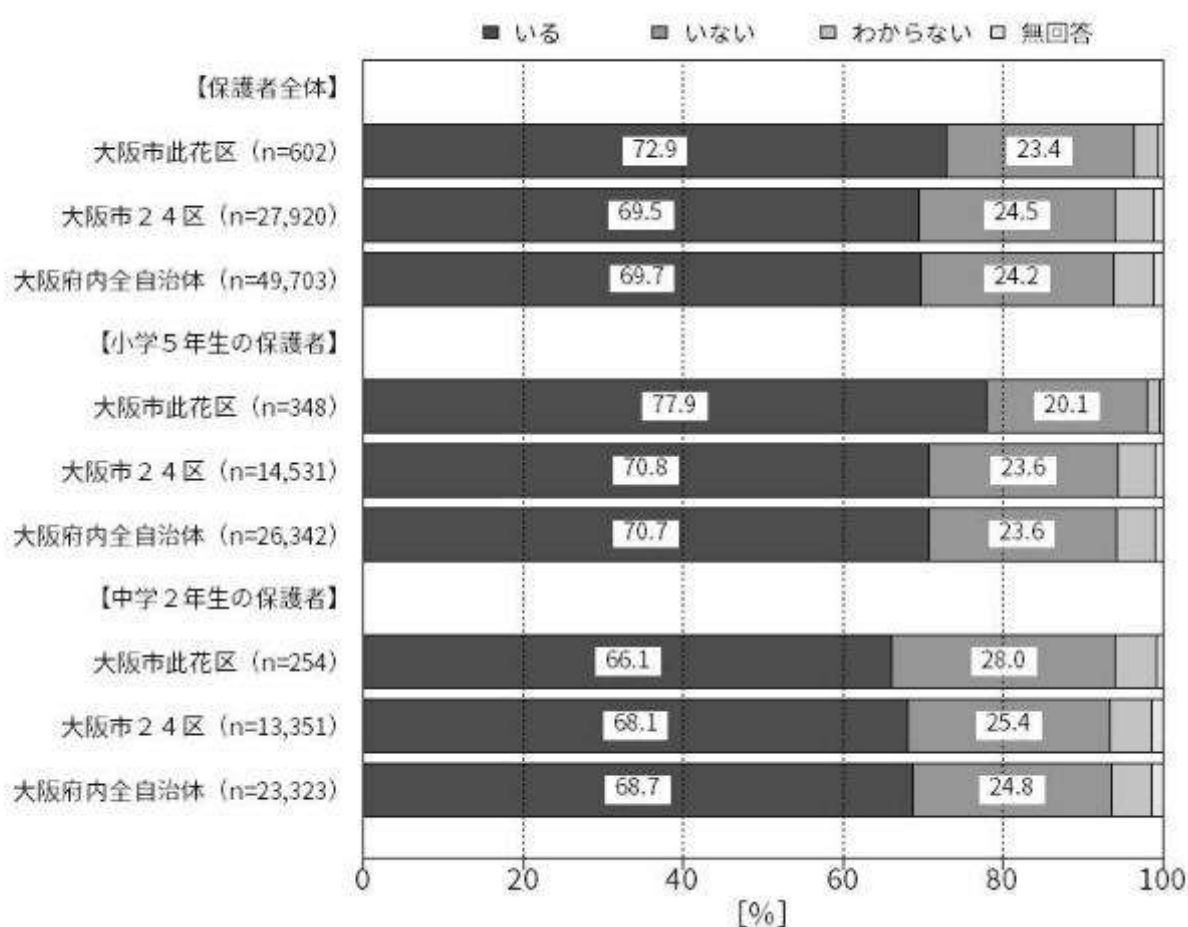


図 97. 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者-23-7. 留守を頼める人

⑦ 留守を頼める人 （あてはまる番号 1 つに○をつけてください）

大阪市此花区の保護者全体では、「いる」が 66.1%、「いない」が 28.6%、「わからない」が 4.8%、「無回答」が 0.5%であった。

小学 5 年生の保護者では、「いる」が 70.7%、「いない」が 25.0%、「わからない」が 4.0%、「無回答」が 0.3%であった。

中学 2 年生の保護者では、「いる」が 59.8%、「いない」が 33.5%、「わからない」が 5.9%、「無回答」が 0.8%であった。

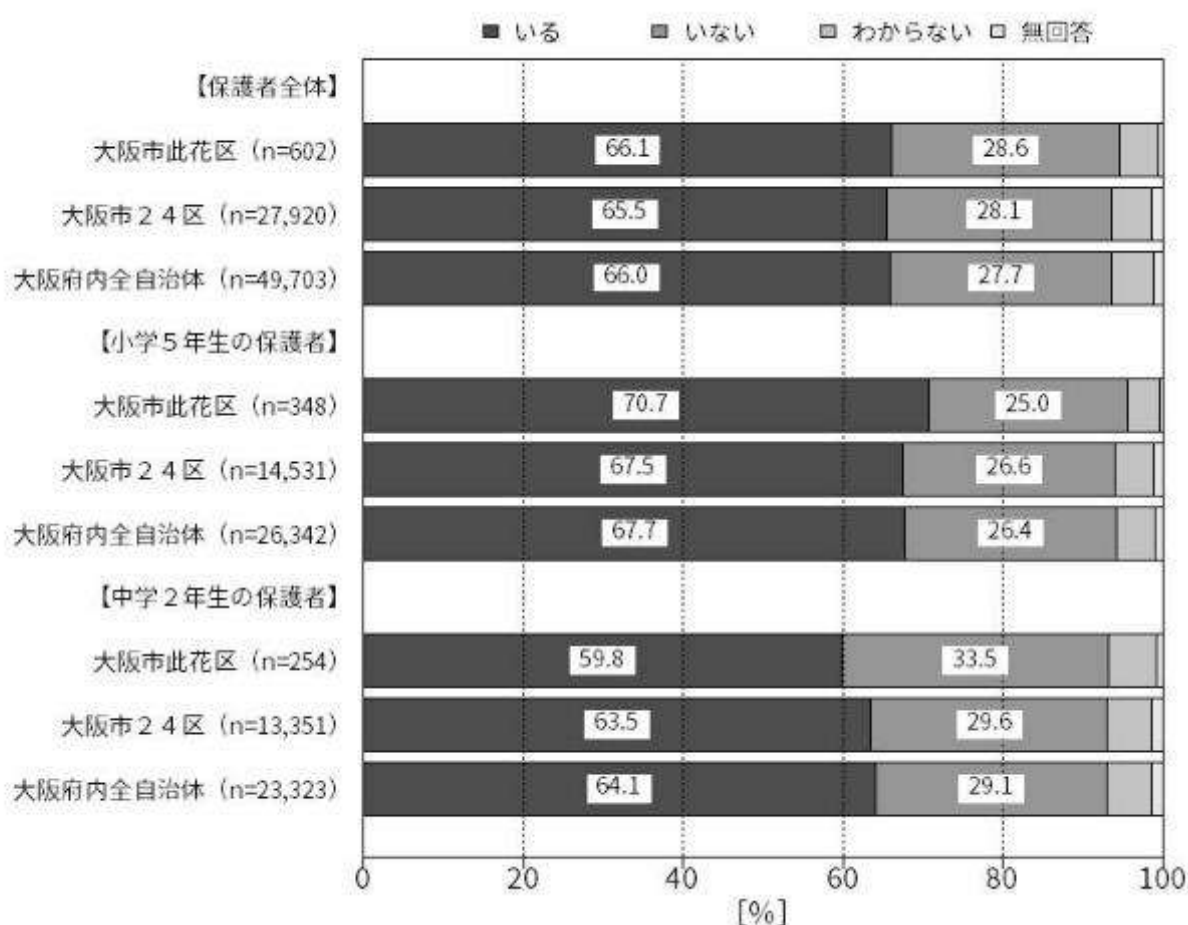


図 98. 留守を頼める人

保護者-24. 困ったときの相談先

あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市此花区の保護者全体では、「自分の親」が 67.1%、「配偶者・パートナー」が 66.6%、「近隣に住む知人や友人」が 43.5%、「きょうだい・その他の親戚」が 35.2%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 19.9%の順に高くなっている。

小学5年生の保護者では、「配偶者・パートナー」が 69.0%、「自分の親」が 69.0%、「近隣に住む知人や友人」が 48.6%、「きょうだい・その他の親戚」が 34.2%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 21.3%の順に高くなっている。

中学2年生の保護者では、「自分の親」が 64.6%、「配偶者・パートナー」が 63.4%、「きょうだい・その他の親戚」が 36.6%、「近隣に住む知人や友人」が 36.6%、「近隣に住んでいない知人や友人」が 18.1%の順に高くなっている。

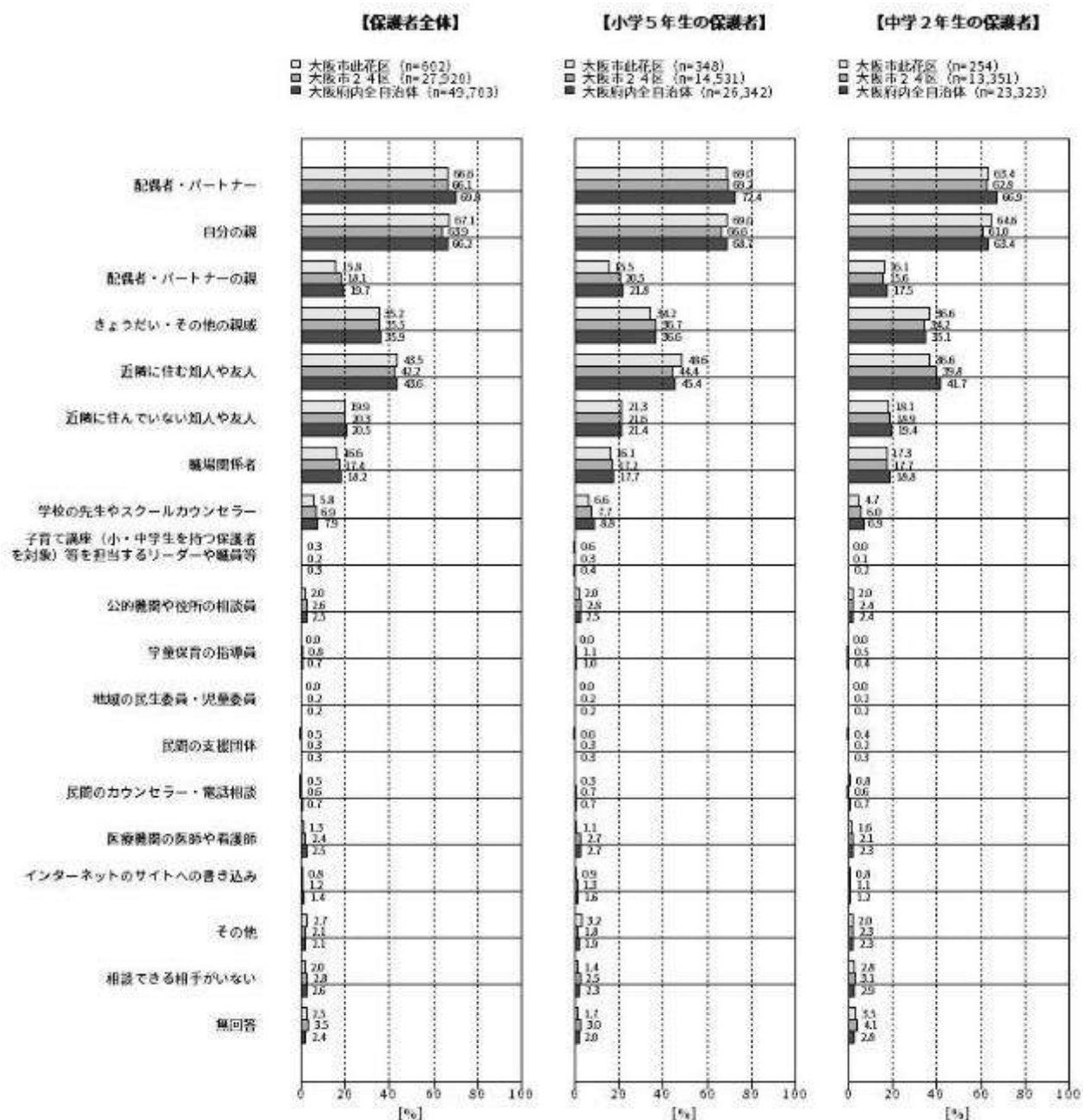


図 99. 困ったときの相談先

子ども-22. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。(だれに話しますか。)
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

大阪市此花区の全体では、「親」が 59.5%、「学校のともだち」が 44.1%、「きょうだい」が 15.9%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 13.8%、「だれにも相談したくない」が 11.3%の順に高くなっている。

小学5年生では、「親」が 64.5%、「学校のともだち」が 37.2%、「きょうだい」が 16.3%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 15.8%、「だれにも相談したくない」が 11.7%の順に高くなっている。

中学2年生では、「学校のともだち」が 53.5%、「親」が 52.8%、「きょうだい」が 15.4%、「担任の先生や他のクラスの先生」が 11.0%、「だれにも相談したくない」が 10.6%の順に高くなっている。

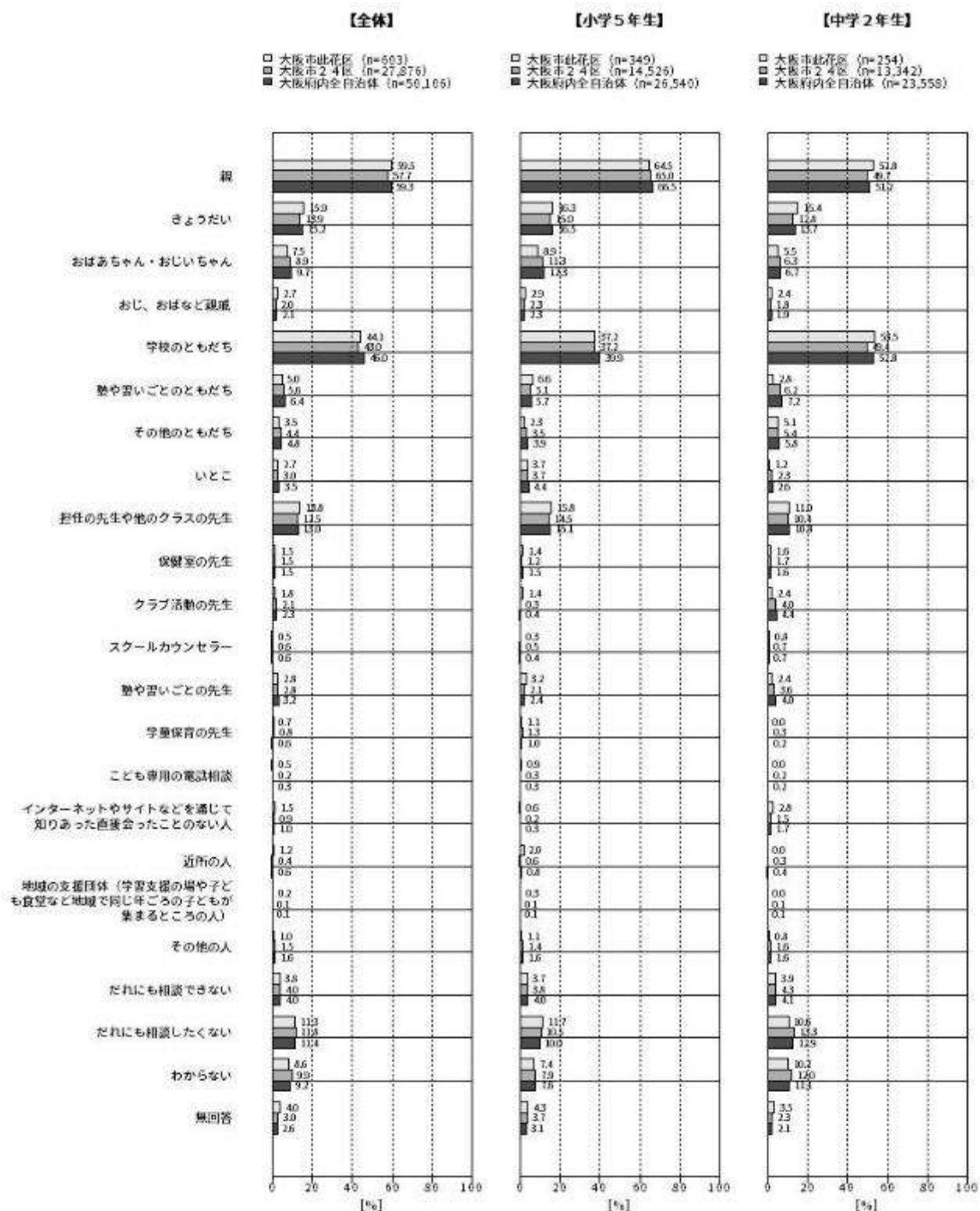


図 100. 嫌なことや悩んでいるときの相談相手

子ども-23-1. 失敗したときに助けてくれる人

① 失敗したときに助けてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が68.7%、「ともだち」が60.4%、「お父さん」が46.9%、「きょうだい」が27.5%、「おじいさん・おばあさん」が26.0%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が71.6%、「ともだち」が56.7%、「お父さん」が51.0%、「おじいさん・おばあさん」が30.4%、「きょうだい」が30.1%の順に高くなっている。

中学2年生では、「ともだち」が65.4%、「お母さん」が64.6%、「お父さん」が41.3%、「きょうだい」が24.0%、「おじいさん・おばあさん」が20.1%の順に高くなっている。

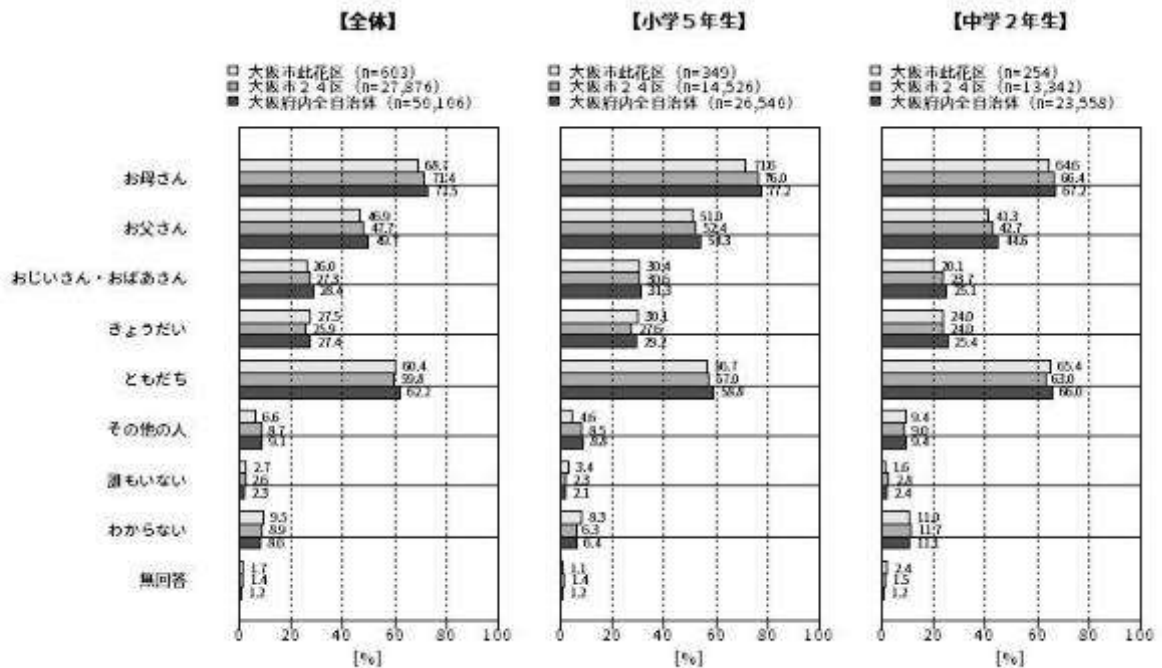


図 101. 失敗したときに助けてくれる人

子ども-23-2. 頑張ったときにほめてくれる人

② 頑張ったときにほめてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が75.3%、「お父さん」が57.7%、「おじいさん・おばあさん」が42.6%、「ともだち」が36.8%、「きょうだい」が23.7%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が78.5%、「お父さん」が62.5%、「おじいさん・おばあさん」が45.3%、「ともだち」が34.7%、「きょうだい」が26.6%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が70.8%、「お父さん」が51.2%、「ともだち」が39.8%、「おじいさん・おばあさん」が39.0%、「きょうだい」が19.7%の順に高くなっている。

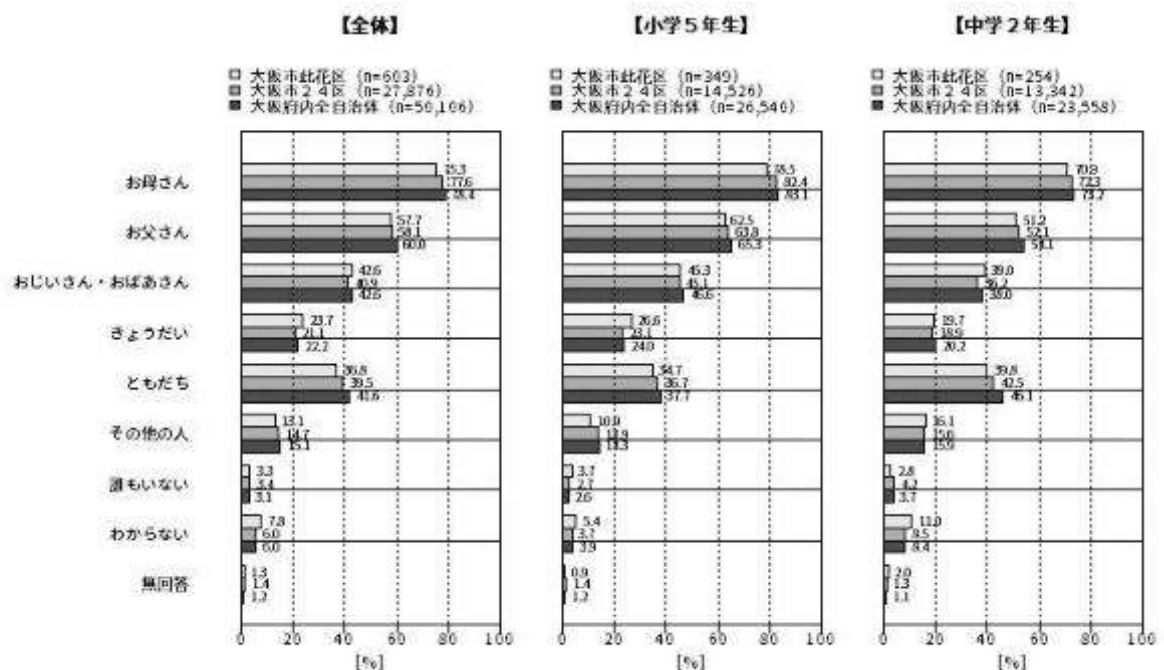


図 102. 頑張ったときにほめてくれる人

子ども-23-3. 一人でできないときに手伝ってくれる人

③ 一人でできないときに手伝ってくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「ともだち」が60.7%、「お母さん」が58.4%、「お父さん」が40.5%、「きょうだい」が28.0%、「おじいさん・おばあさん」が24.9%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が63.3%、「ともだち」が55.0%、「お父さん」が45.0%、「おじいさん・おばあさん」が30.4%、「きょうだい」が30.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「ともだち」が68.5%、「お母さん」が51.6%、「お父さん」が34.3%、「きょうだい」が24.8%、「おじいさん・おばあさん」が17.3%の順に高くなっている。

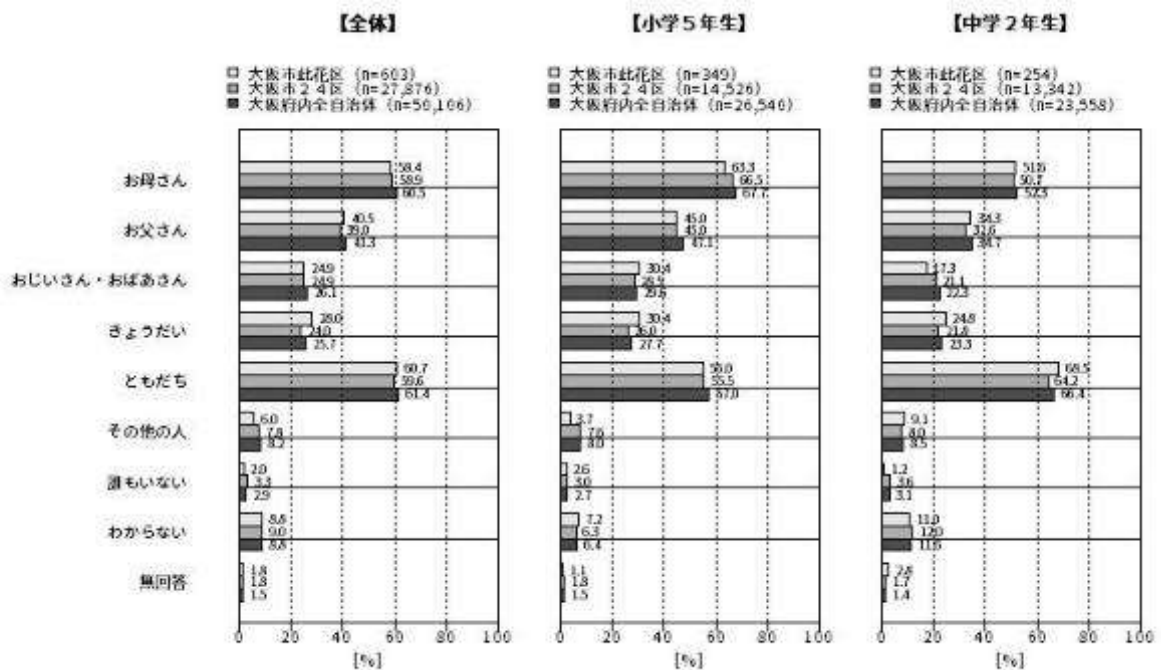


図 103. 一人でできないときに手伝ってくれる人

子ども-23-4. あなたの気持ちをわかってくれる人

④ あなたの気持ちをわかってくれる人（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が67.3%、「ともだち」が43.8%、「お父さん」が41.5%、「おじいさん・おばあさん」が30.5%、「きょうだい」が26.7%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が73.6%、「お父さん」が47.0%、「ともだち」が37.8%、「おじいさん・おばあさん」が36.4%、「きょうだい」が27.8%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が58.7%、「ともだち」が52.0%、「お父さん」が38.9%、「きょうだい」が25.2%、「おじいさん・おばあさん」が23.3%の順に高くなっている。

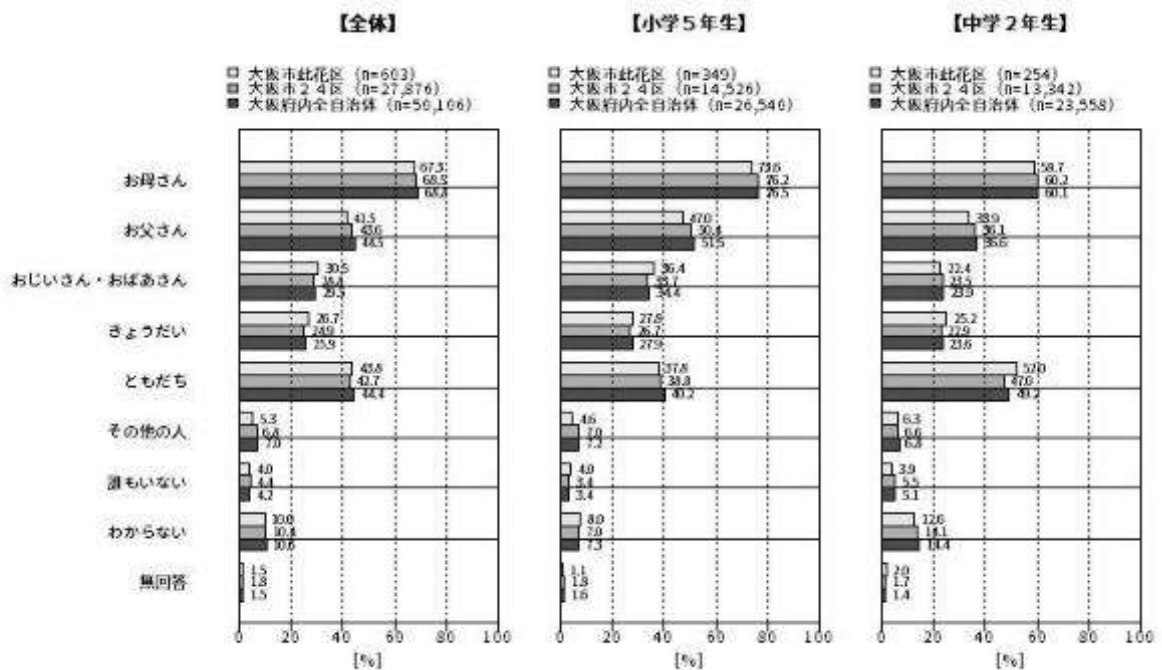


図 104. あなたの気持ちをわかってくれる人

子ども-23-5. あなたのことを信じてくれる人

⑤ あなたのことを信じてくれる人 （あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が67.5%、「お父さん」が49.6%、「ともだち」が39.8%、「おじいさん・おばあさん」が38.1%、「きょうだい」が28.4%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が71.3%、「お父さん」が53.0%、「おじいさん・おばあさん」が42.7%、「ともだち」が38.4%、「きょうだい」が29.2%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が62.7%、「お父さん」が44.9%、「ともだち」が41.7%、「おじいさん・おばあさん」が32.9%、「きょうだい」が27.2%の順に高くなっている。

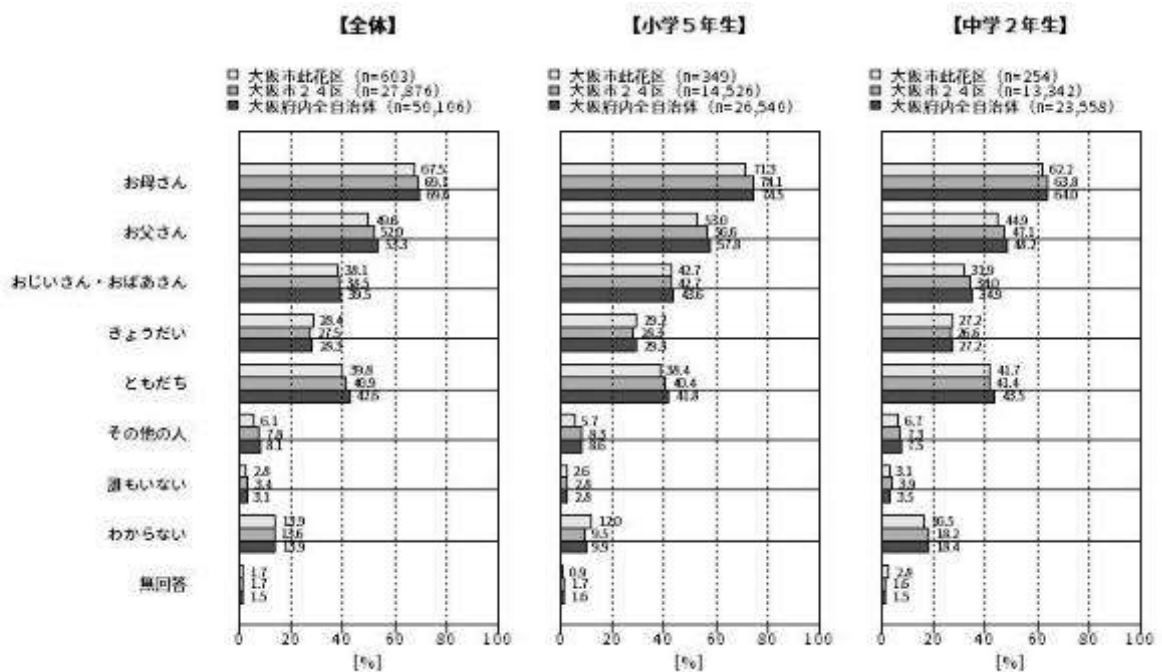


図 105. あなたのことを信じてくれる人

子ども-23-6. 悩んだときの対処を教えてください

⑥ 悩んだときの対処を教えてください (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が68.7%、「ともだち」が43.9%、「お父さん」が43.6%、「おじいさん・おばあさん」が26.7%、「きょうだい」が19.9%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が72.5%、「お父さん」が48.4%、「ともだち」が38.7%、「おじいさん・おばあさん」が33.2%、「きょうだい」が20.3%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が63.4%、「ともだち」が51.2%、「お父さん」が37.0%、「きょうだい」が19.3%、「おじいさん・おばあさん」が17.7%の順に高くなっている。

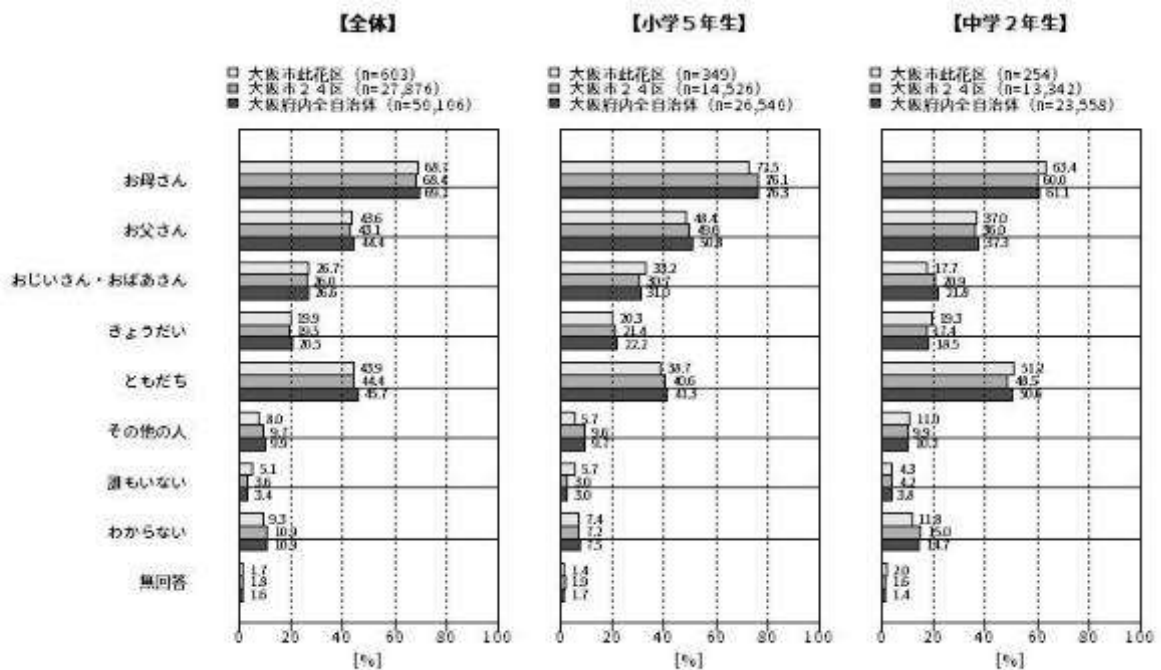


図 106. 悩んだときの対処を教えてください

子ども-23-7. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

⑦ 良いところ、良くないところをわかってくれる人（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が79.3%、「お父さん」が55.9%、「ともだち」が44.6%、「おじいさん・おばあさん」が35.7%、「きょうだい」が33.0%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が83.1%、「お父さん」が60.5%、「おじいさん・おばあさん」が38.4%、「ともだち」が34.7%、「きょうだい」が32.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が74.0%、「ともだち」が58.3%、「お父さん」が49.6%、「きょうだい」が33.9%、「おじいさん・おばあさん」が31.6%の順に高くなっている。

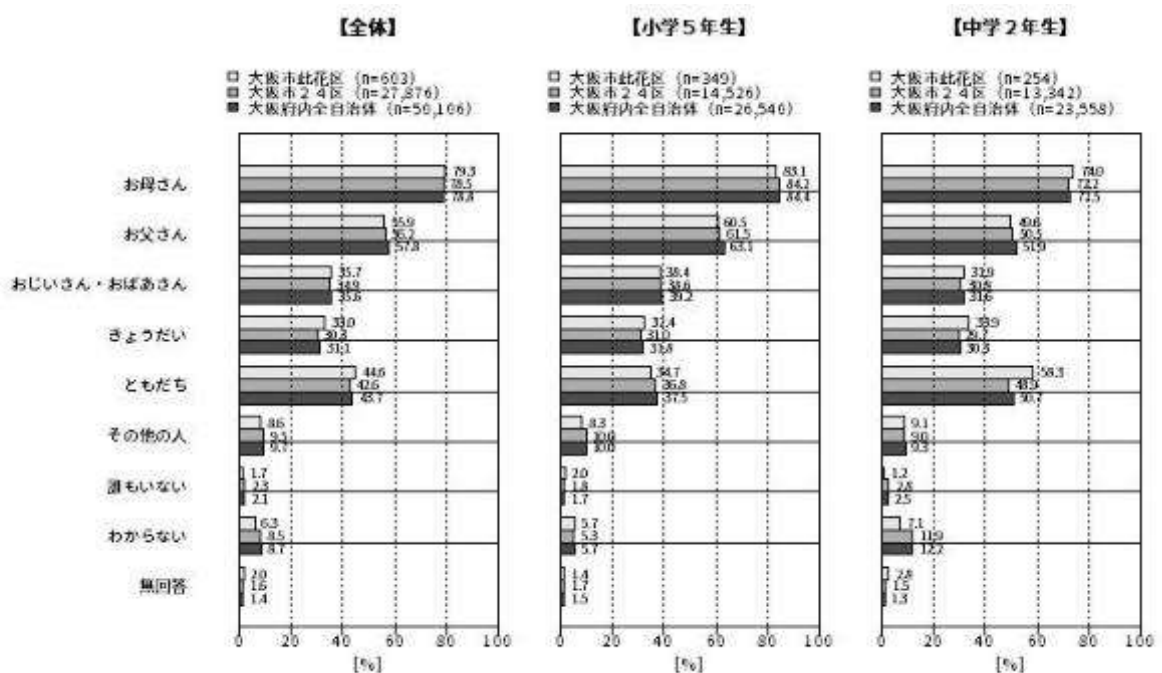


図 107. 良いところ、良くないところをわかってくれる人

子ども-23-8. あなたのことを大切にしてくれる人

⑧ あなたのことを大切にしてくれる人 (あてはまる番号すべてに○をつけてください)

大阪市此花区の全体では、「お母さん」が84.4%、「お父さん」が68.0%、「おじいさん・おばあさん」が58.7%、「ともだち」が48.3%、「きょうだい」が45.1%の順に高くなっている。

小学5年生では、「お母さん」が88.0%、「お父さん」が73.1%、「おじいさん・おばあさん」が63.9%、「きょうだい」が45.8%、「ともだち」が42.4%の順に高くなっている。

中学2年生では、「お母さん」が79.5%、「お父さん」が61.0%、「ともだち」が56.3%、「おじいさん・おばあさん」が51.6%、「きょうだい」が44.1%の順に高くなっている。

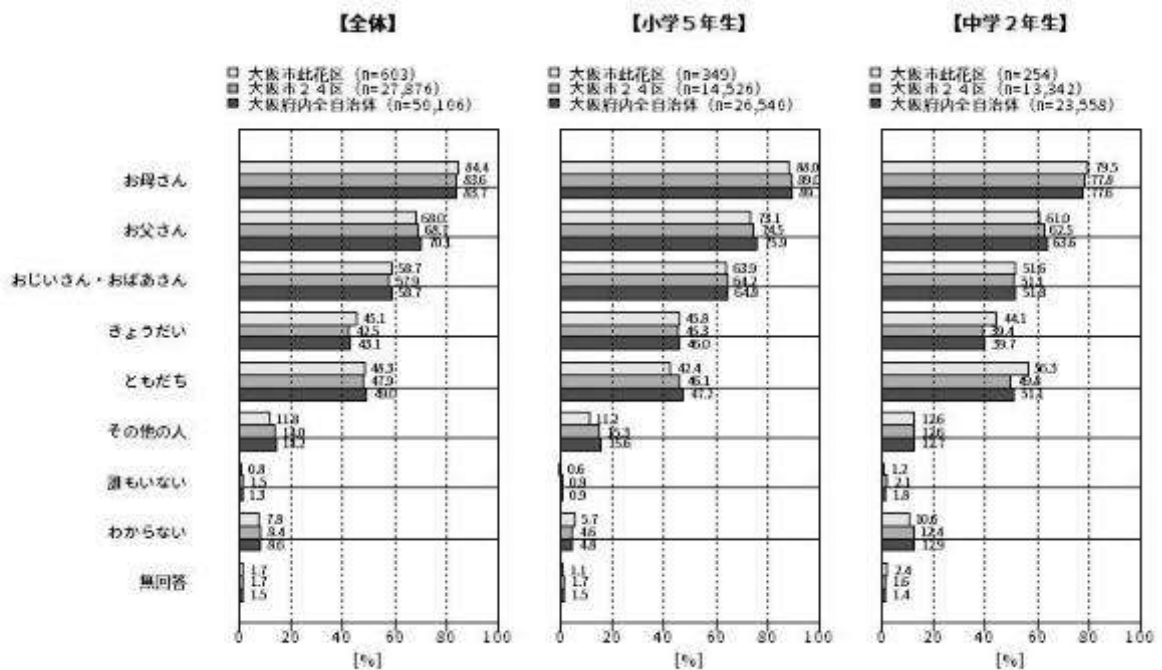


図 108. あなたのことを大切にしてくれる人

3. クロス集計および分析結果

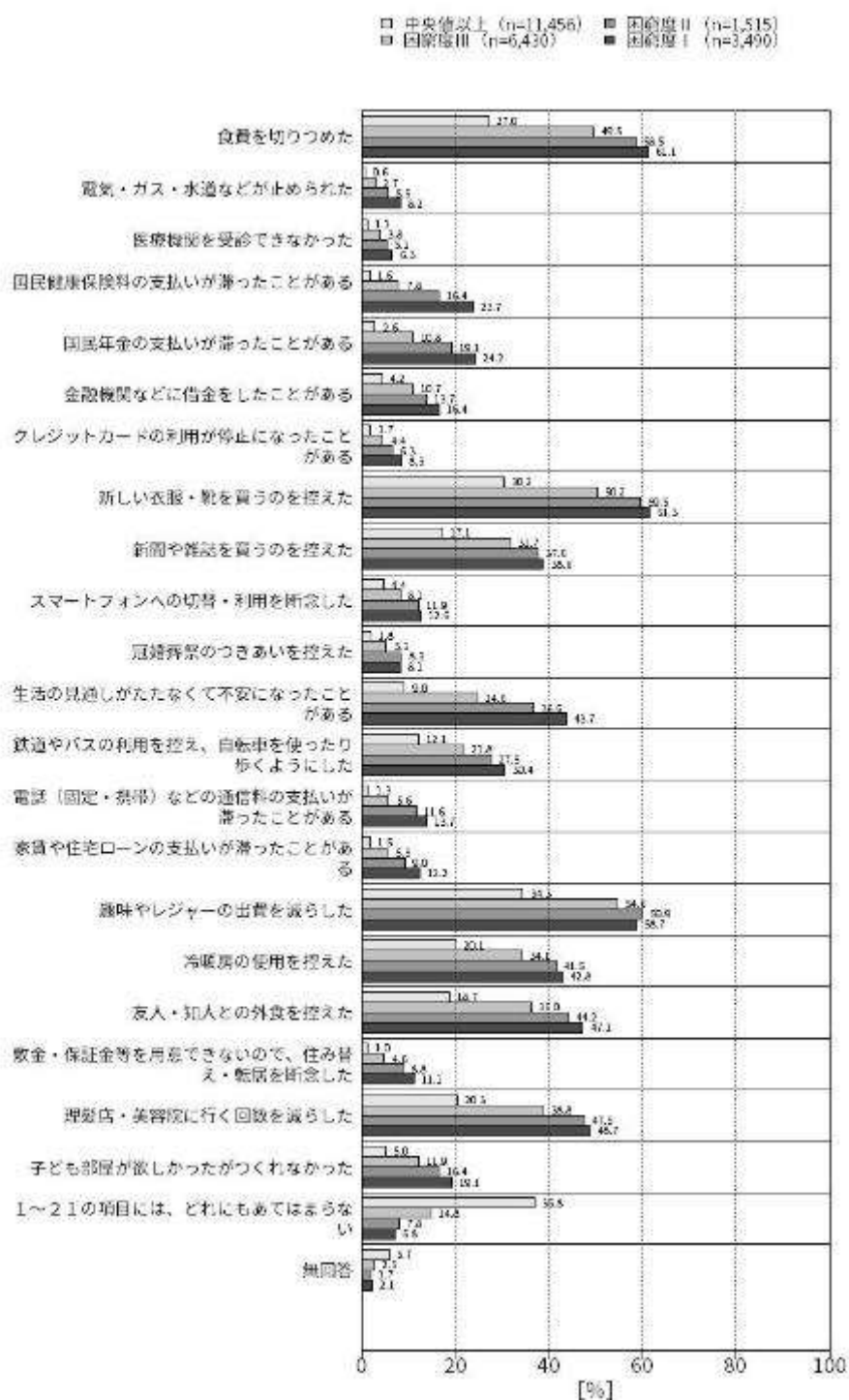
以下のグラフは、主に困窮度別（大阪市 24 区での分類に基づく）に示している。大阪市 24 区全体の傾向については記述していないが、多くにおいて同様の傾向が見られる。

3-1. 基本情報

（1）経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票 問 7）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

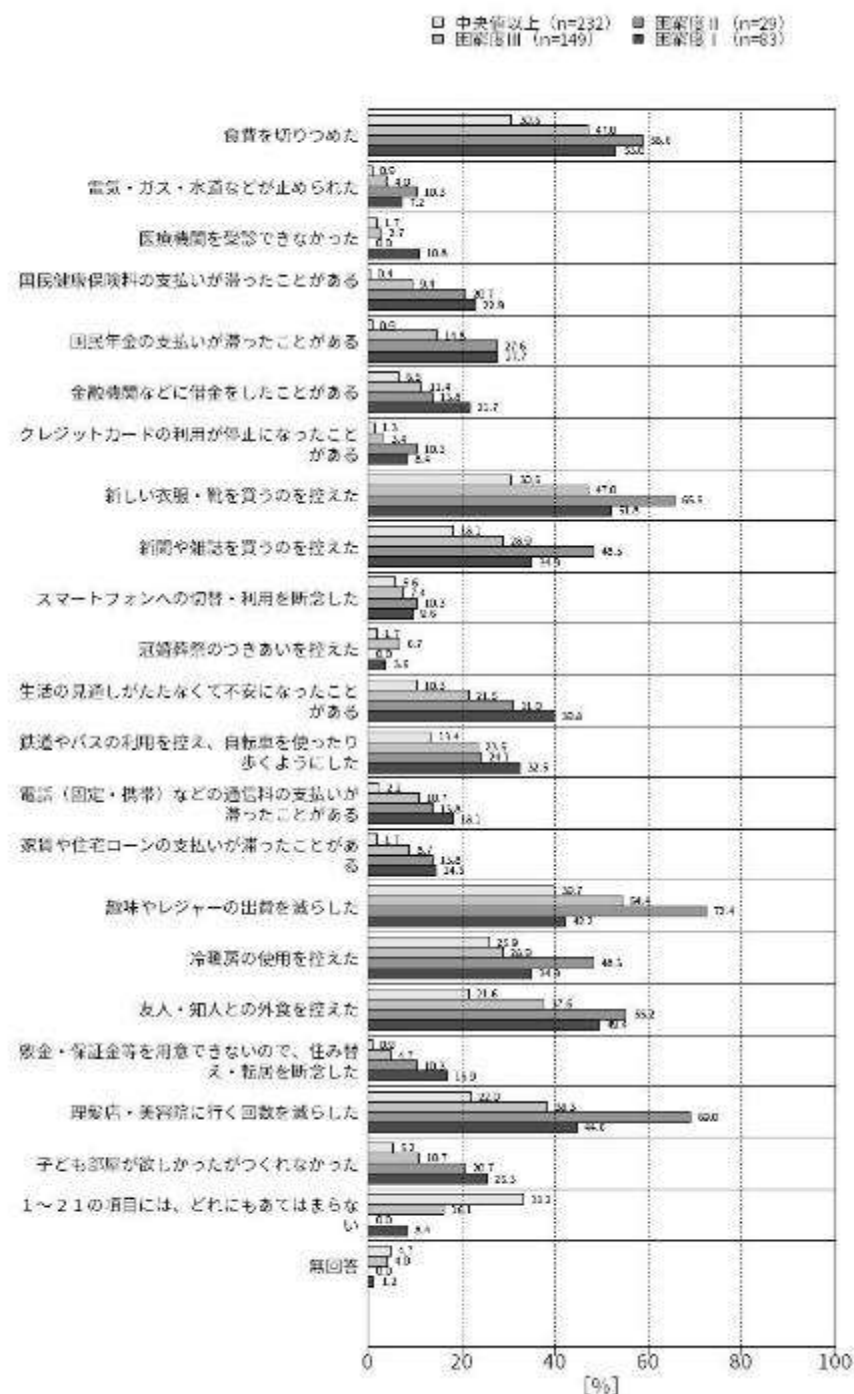


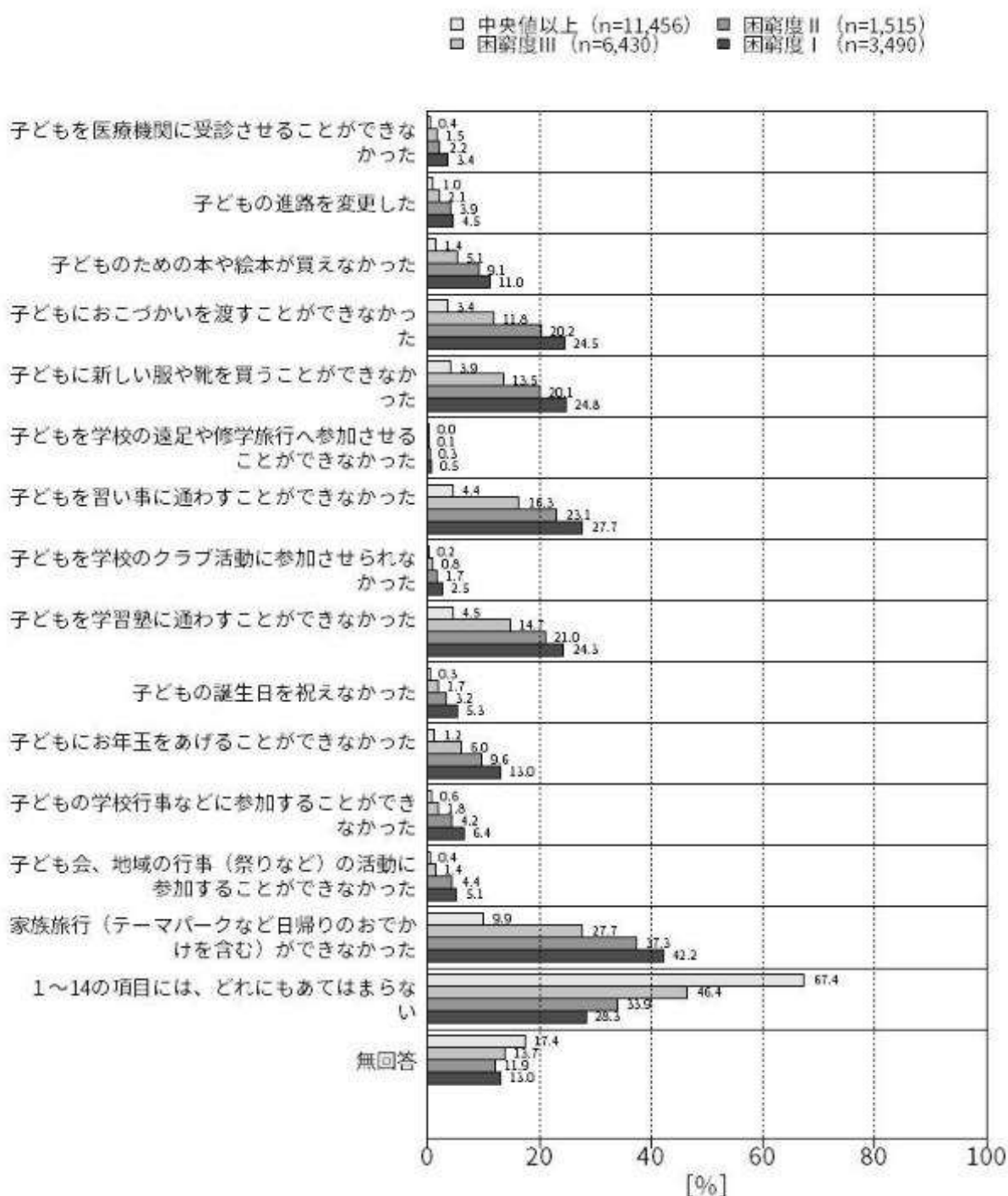
図 109. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

※困窮度については図 5 参照。

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」は22.9%（中央値以上群に対して、57.3倍）、「国民年金の支払いが滞ったことがある」は27.7%（30.8倍）、「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」は16.9%（18.8倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また、「どれにもあてはまらない」は、中央値以上群で33.2%なのに対して、困窮度Ⅰ群において8.4%であった。

困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験（保護者票 問 13）

<大阪市 24 区>



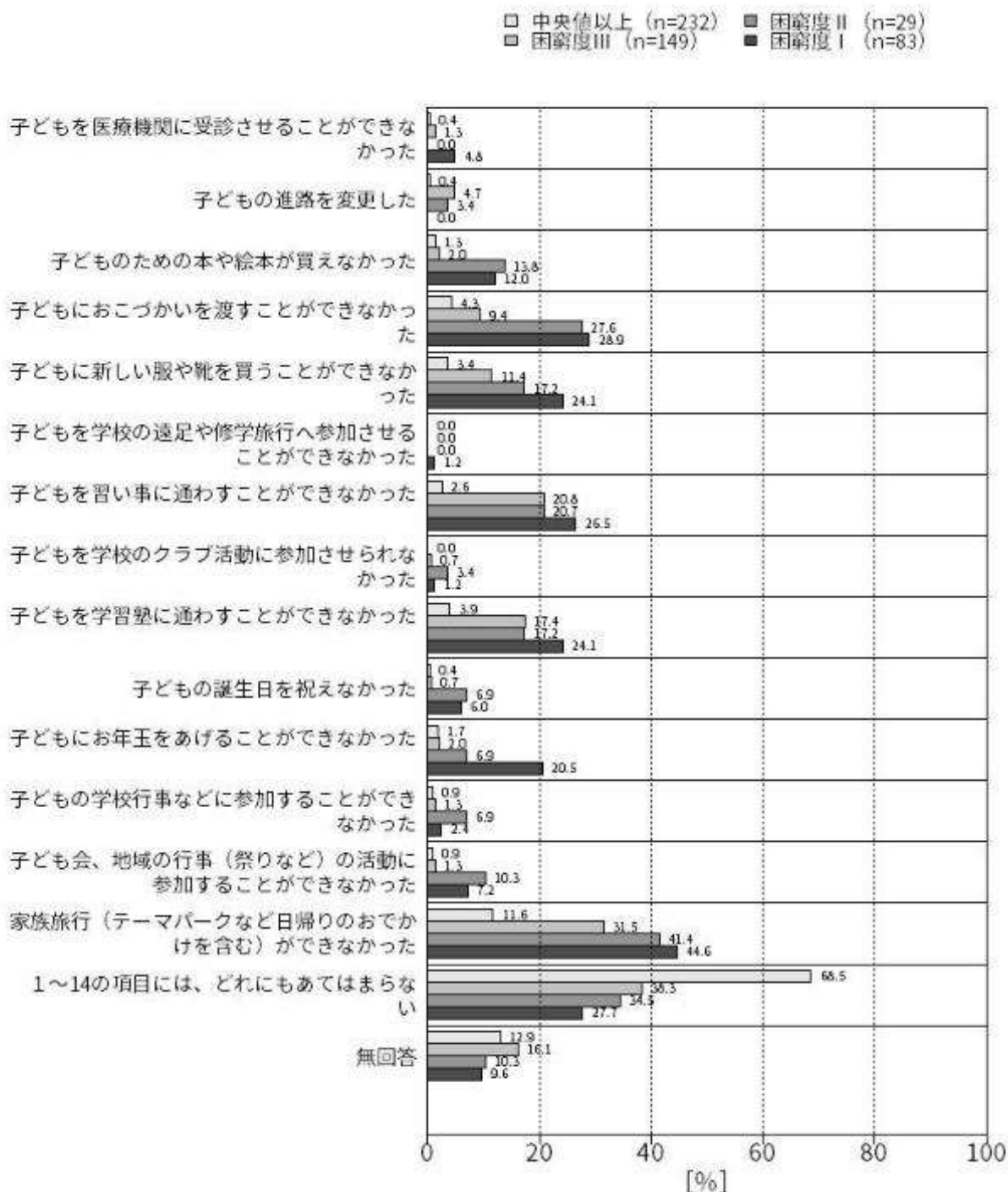
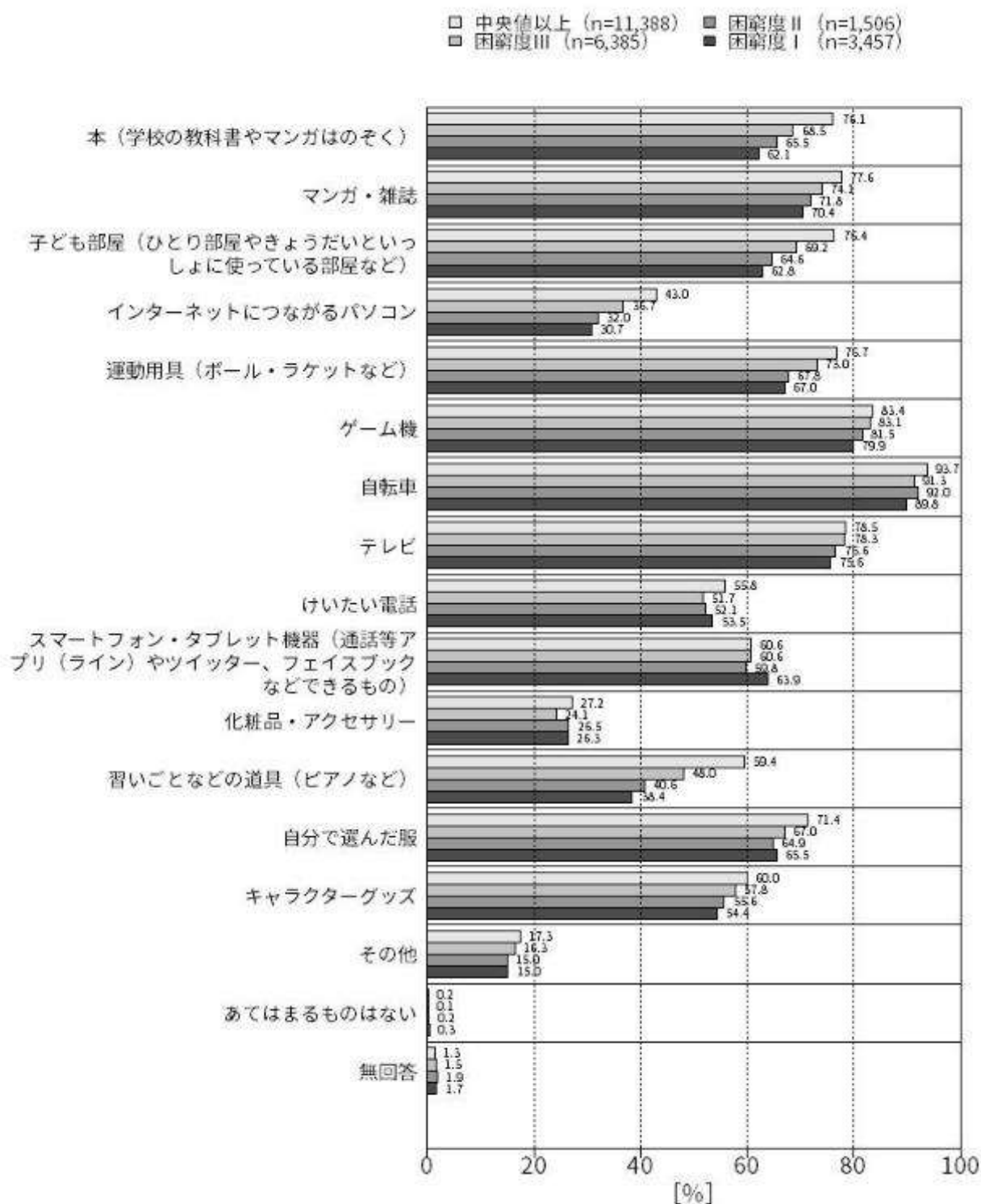


図 110. 困窮度別に見た、子どもについて経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「子どもの誕生日を祝えなかった」は6.0%（中央値以上群に対して、15.0倍）、「子どもにお年玉をあげることができなかった」は20.5%（12.1倍）、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」は4.8%（12.0倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票 問 25）

<大阪市 24 区>



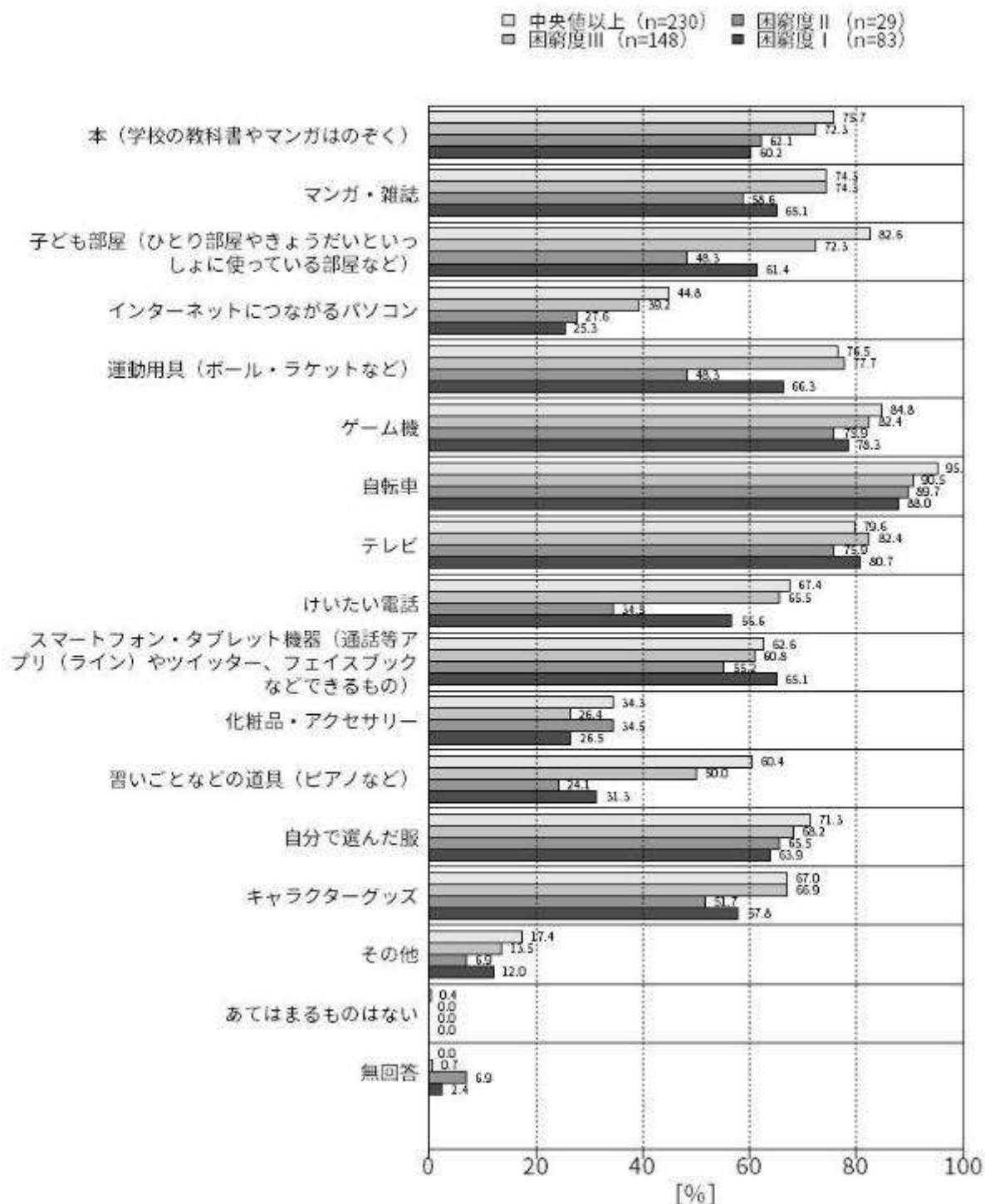
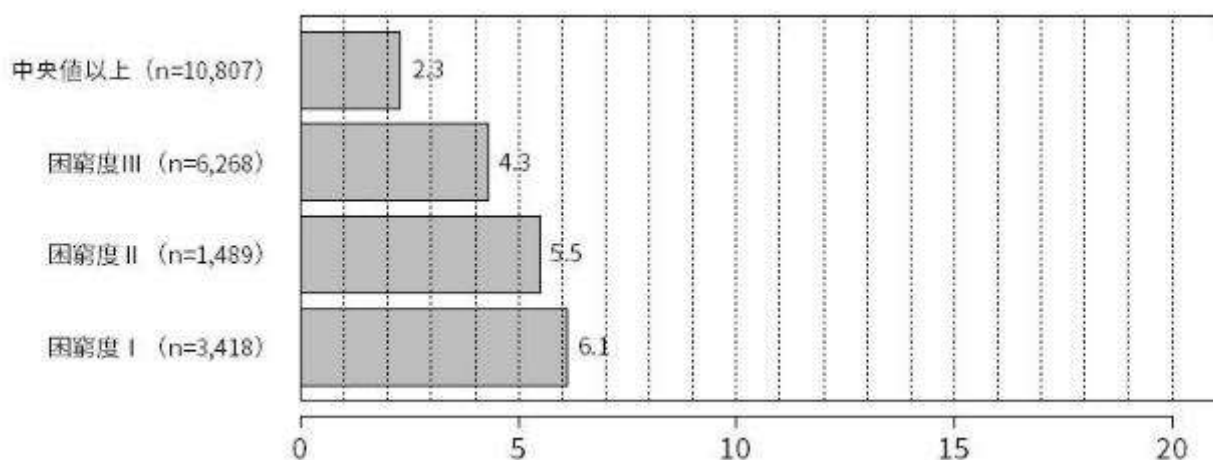


図 111. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に子どもの持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」60.4%（困窮度Ⅰ群に対して、1.9 倍）、「インターネットにつながるパソコン」44.8%（1.8 倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。困窮度が高いことでこれらを持っていない、使うことができないことは、子どもの生活や将来に影響を及ぼす可能性がある。

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

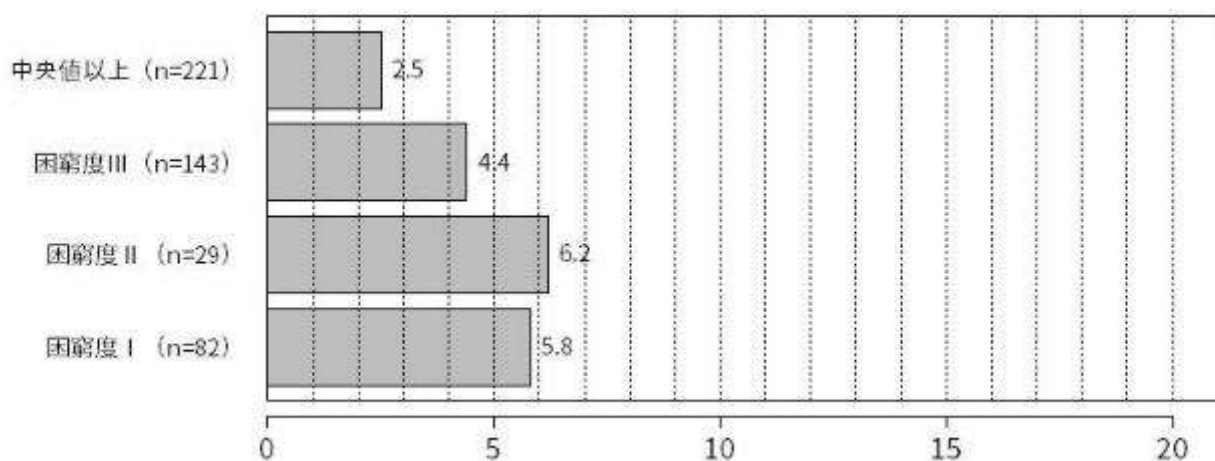


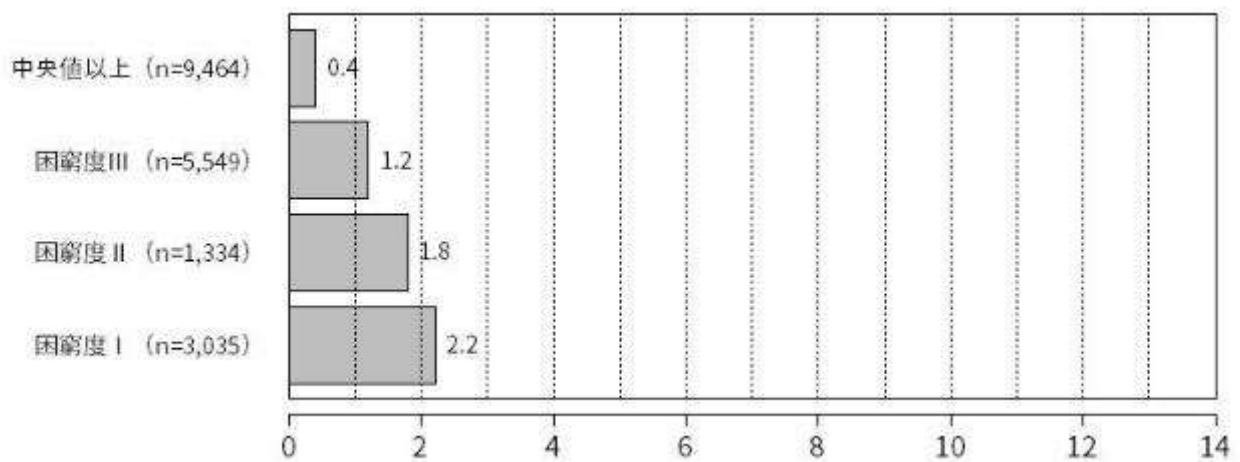
図 112. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した 21 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度と経済的な理由による経験の該当数についてさらに詳細に検討した結果、該当なし（どれにもあてはまらない）、1～6 個に該当、7 個以上に該当、の 3 群に分けることができた。図 193 および図 195 では、これらの結果と体や気持ちで気になることとの関連を示している。これは、最低限度の生活に必要なものの 1 つである健康を、所得を基に計算される困窮度だけでなく、具体的な充足の程度と関連して把握するためである。

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

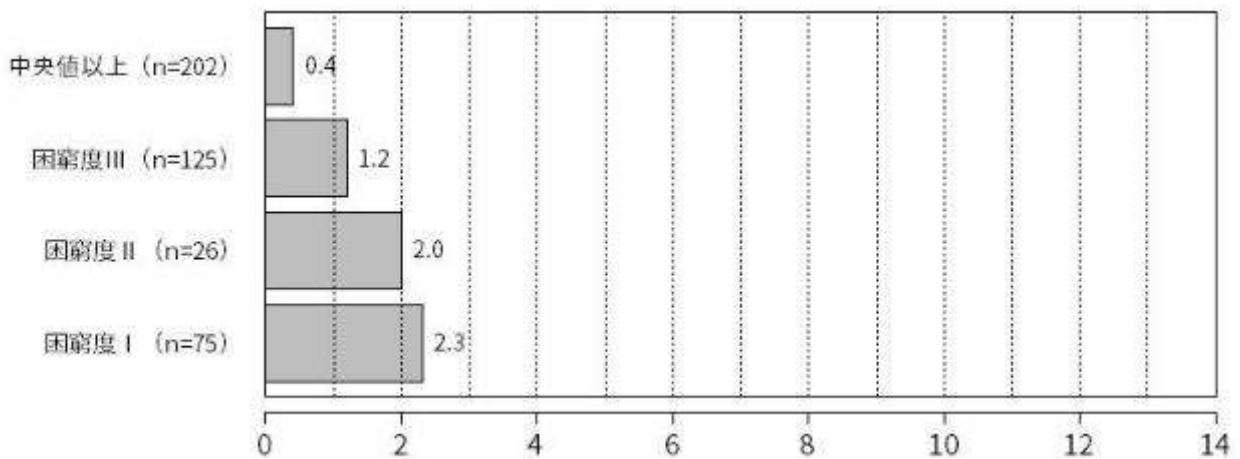


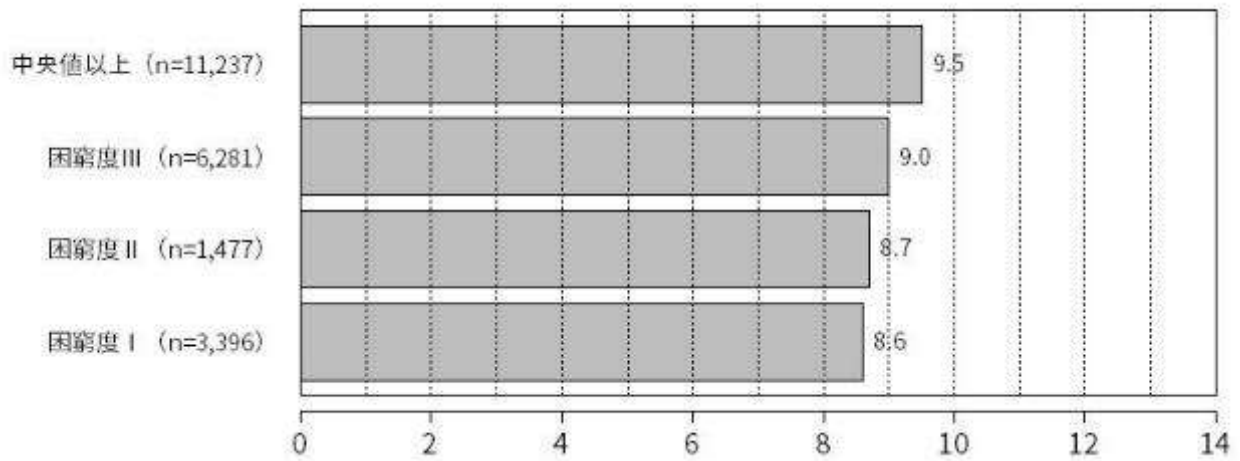
図 113. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 0.4 個、困窮度Ⅰ群では 2.3 個と経済的な理由で子どもにできなかったことの該当数に違いがある様子がみられた。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均
(子ども票 問 25)

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

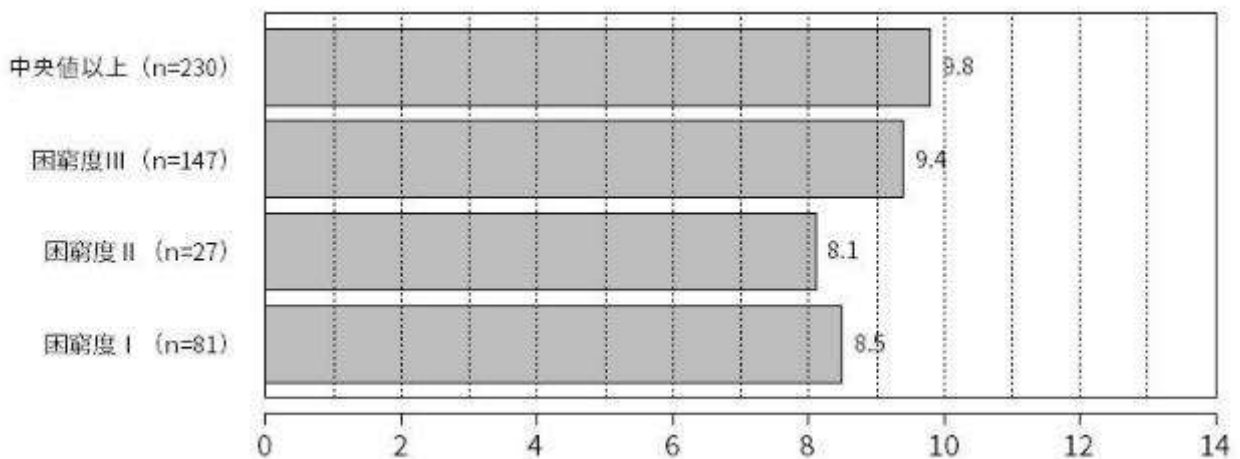


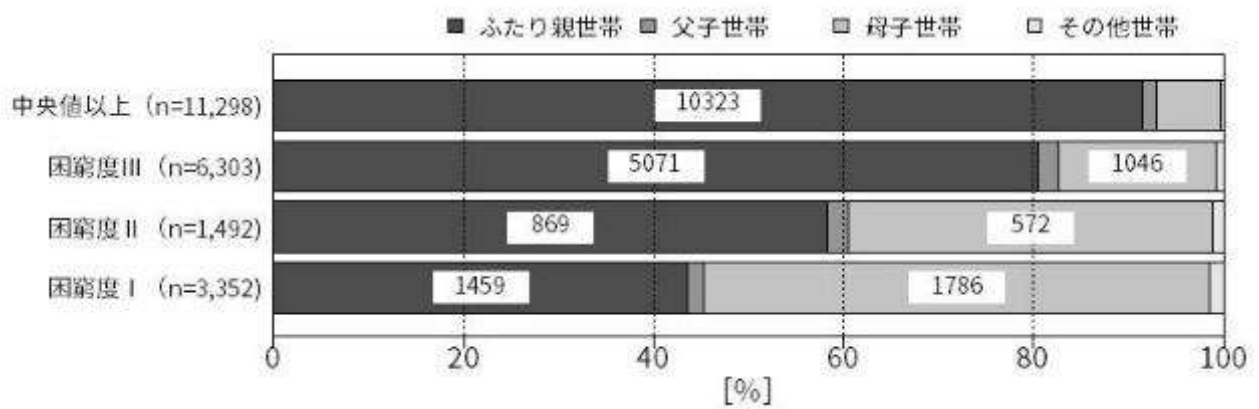
図 114. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した 14 個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群では 9.8 個、困窮度Ⅰ群では 8.5 個であった。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票 世帯構成）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

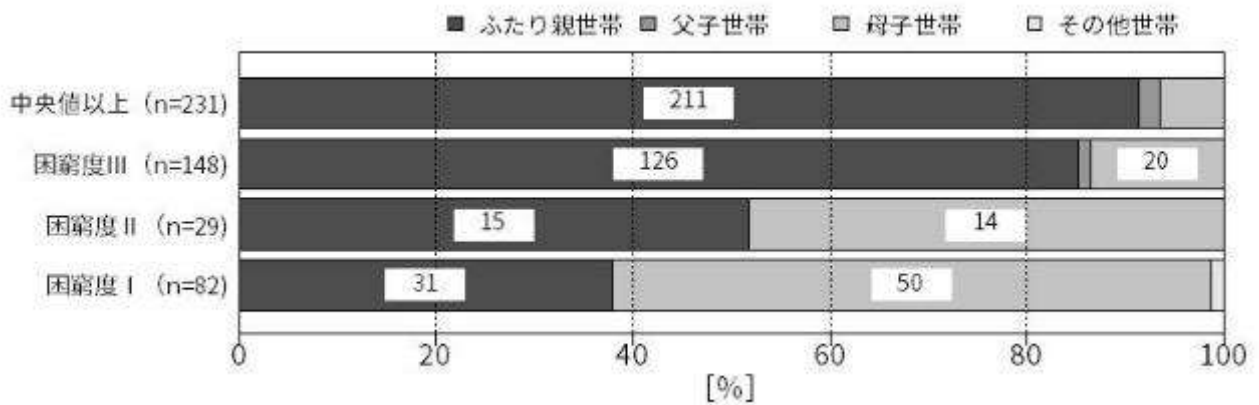
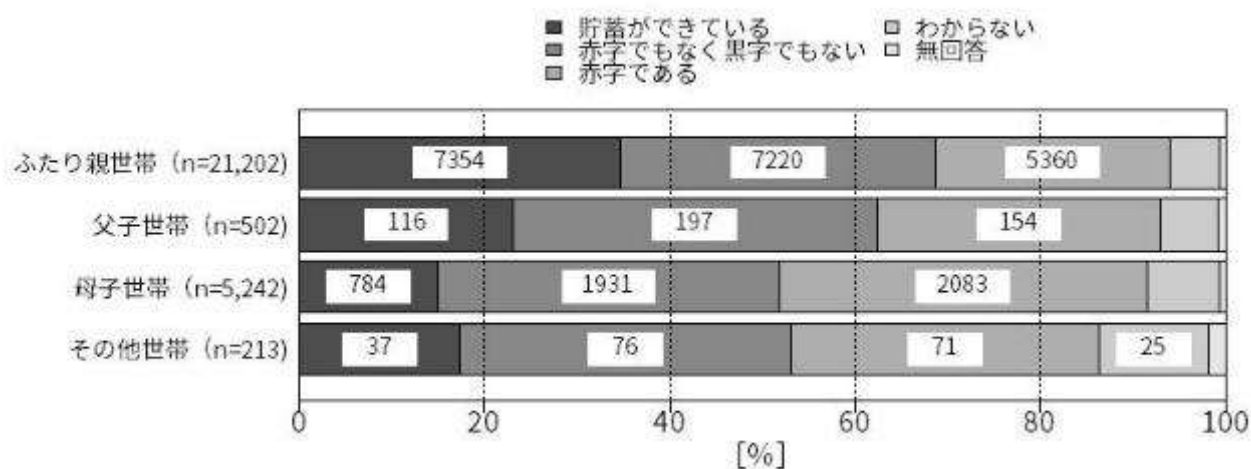


図 115. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が 91.3%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 37.8%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が 6.5%であったのに対して、困窮度Ⅰ群は 61.0%だった。

世帯構成別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

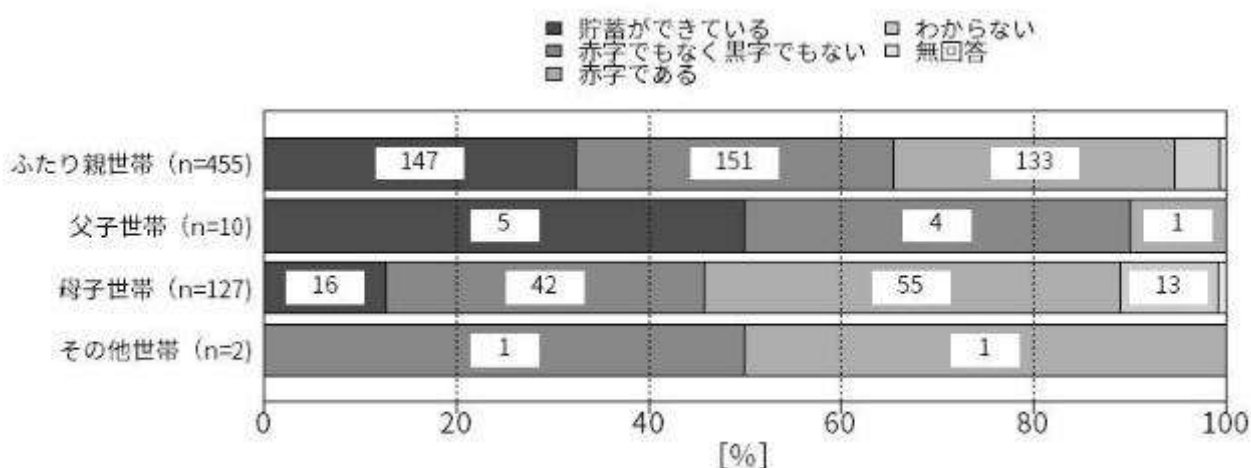
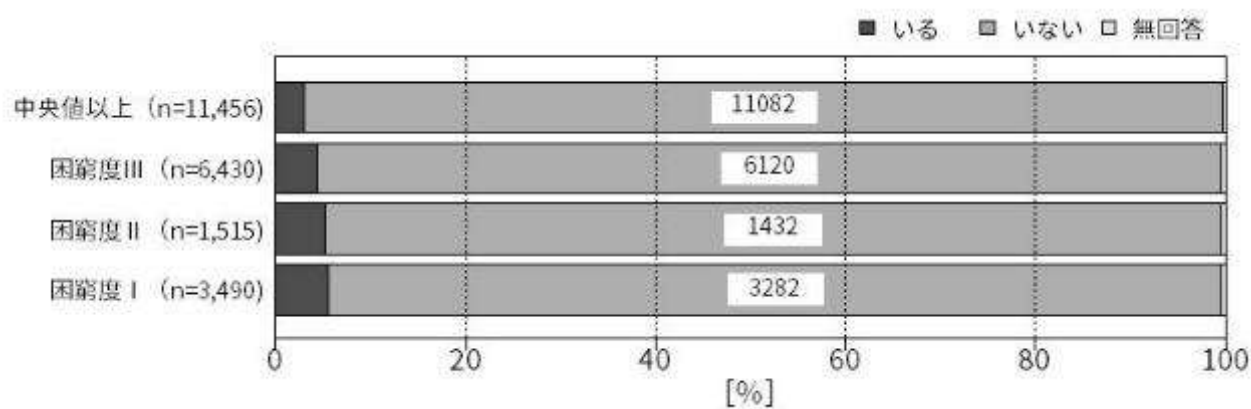


図 116. 世帯構成別に見た、家計状況

世帯構成別に見た家計状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答したのは、ふたり親世帯が32.3%なのに対して、母子世帯は12.6%だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が29.2%なのに対して、母子世帯は43.3%だった。

困窮度別に見た、介護または介助の必要な方（保護者票 問3(1)②）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

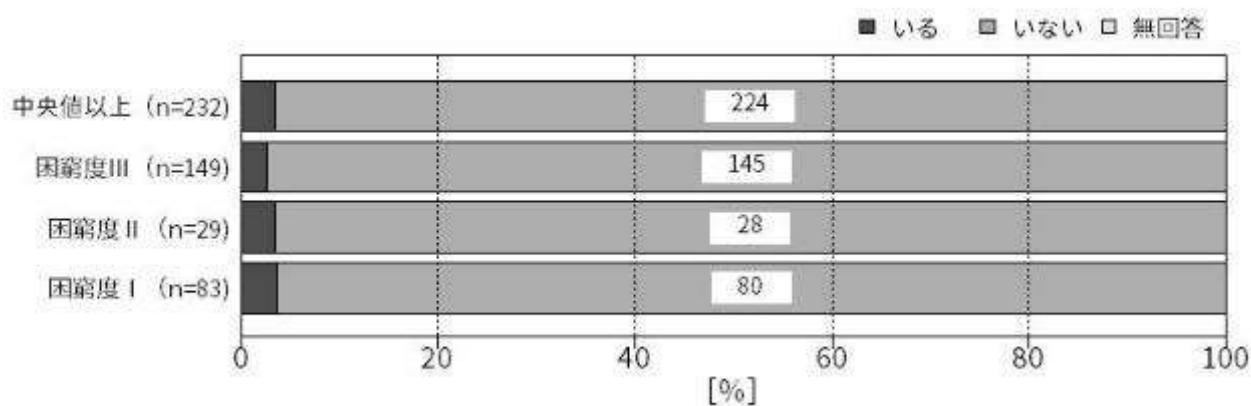
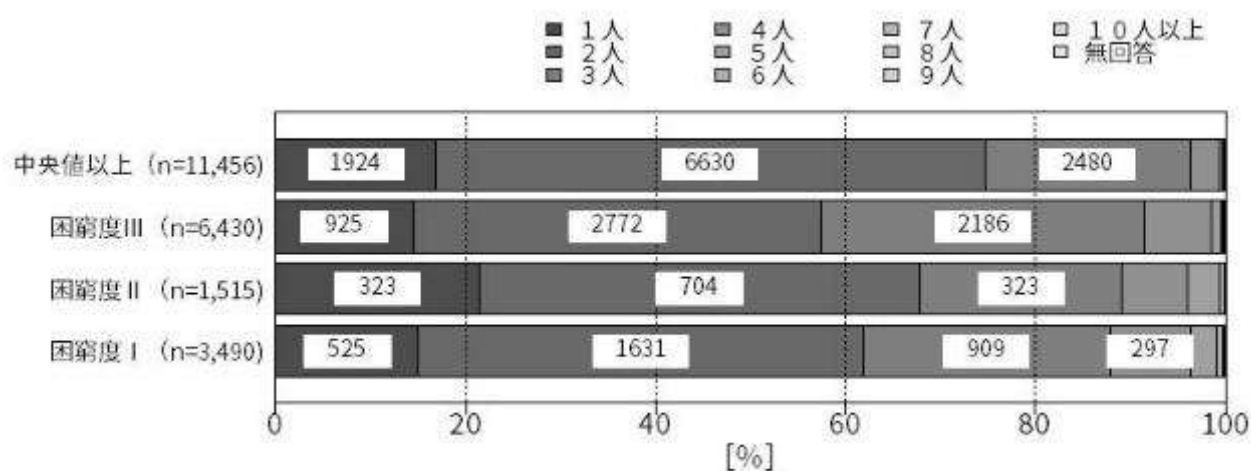


図 117. 困窮度別に見た、介護または介助の必要な方

困窮度別に介護または介助の必要な方を見ると、中央値以上群では「いる」と回答した割合が3.4%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では3.6%であった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票 問3(1)③）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

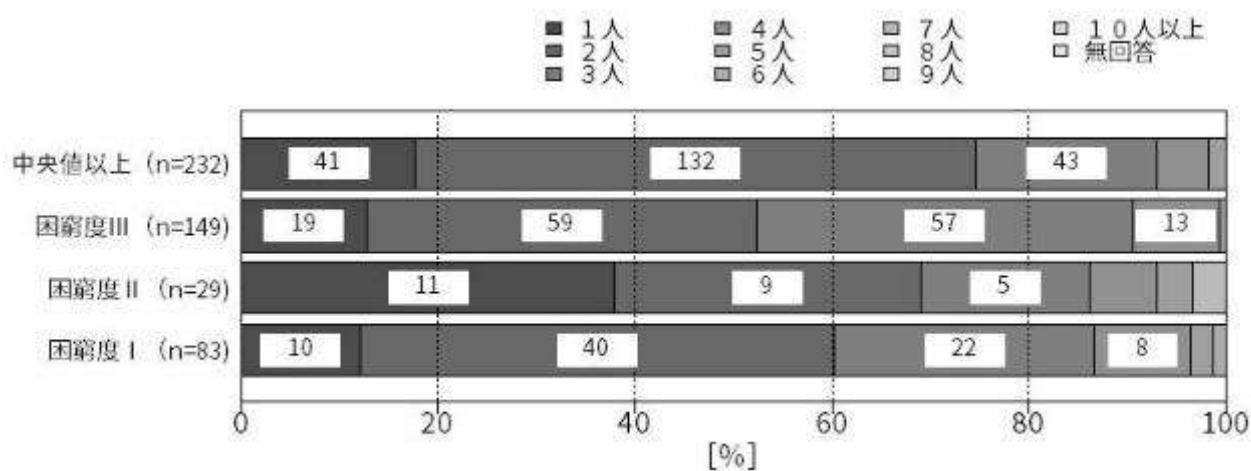
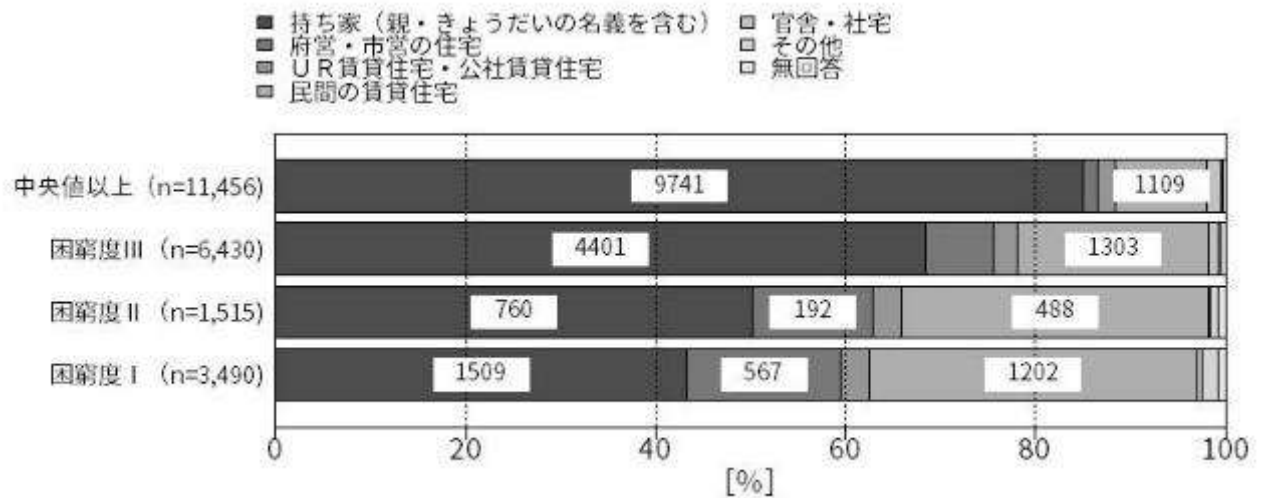


図 118. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において3人以上が25.4%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、39.8%であった。

困窮度別に見た、住居（保護者票 問 4）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

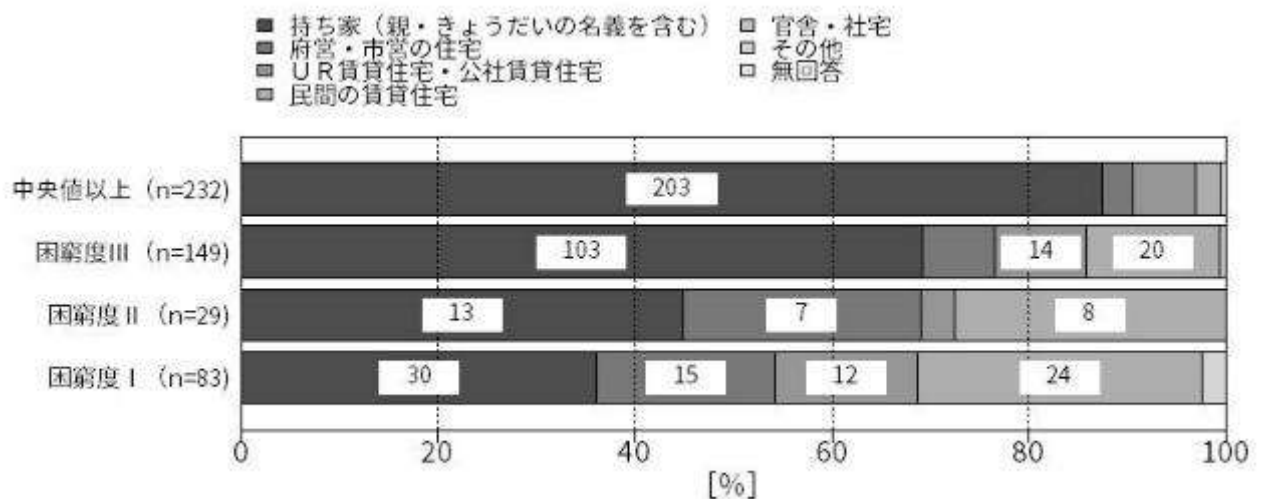
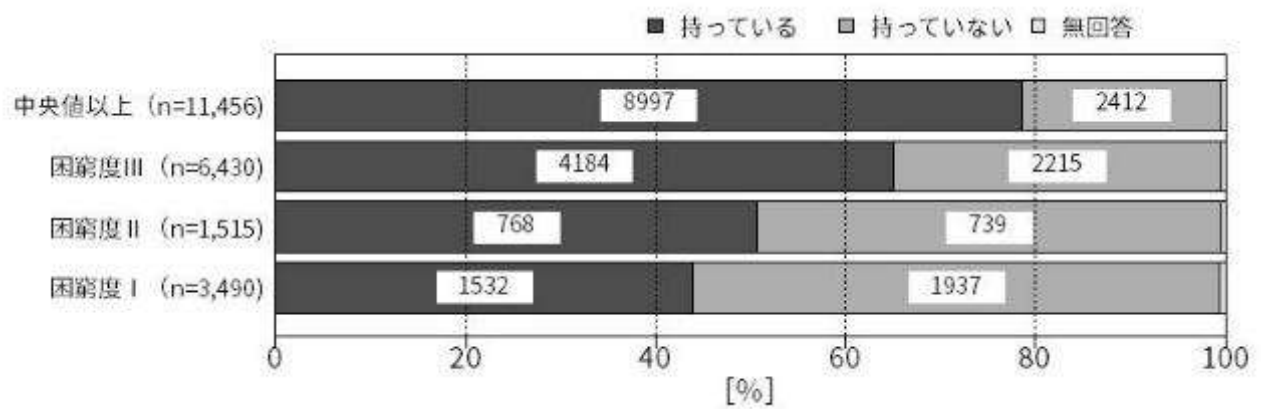


図 119. 困窮度別に見た、住居

困窮度別に住居を見ると、中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は 87.5%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、36.1%であった。

困窮度別に見た、自家用車の所有（保護者票 問 5）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

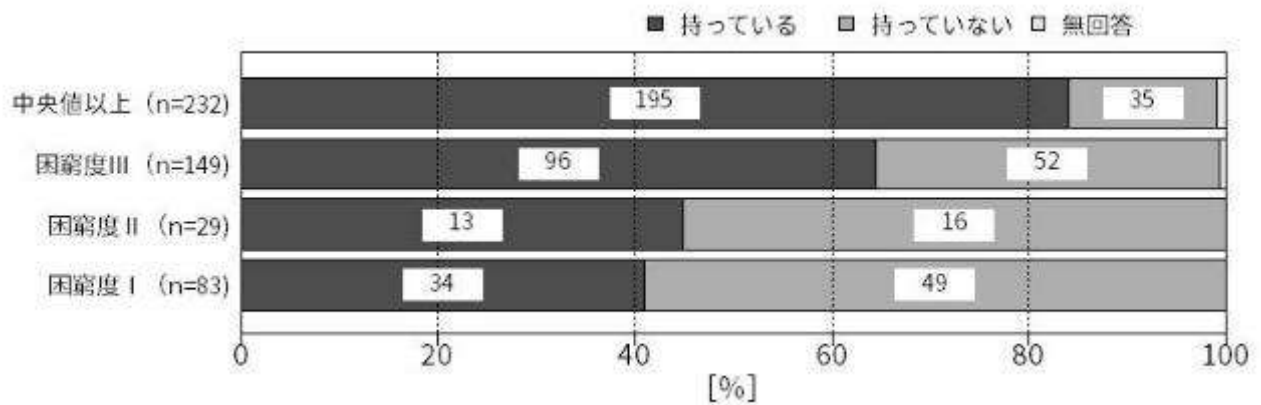
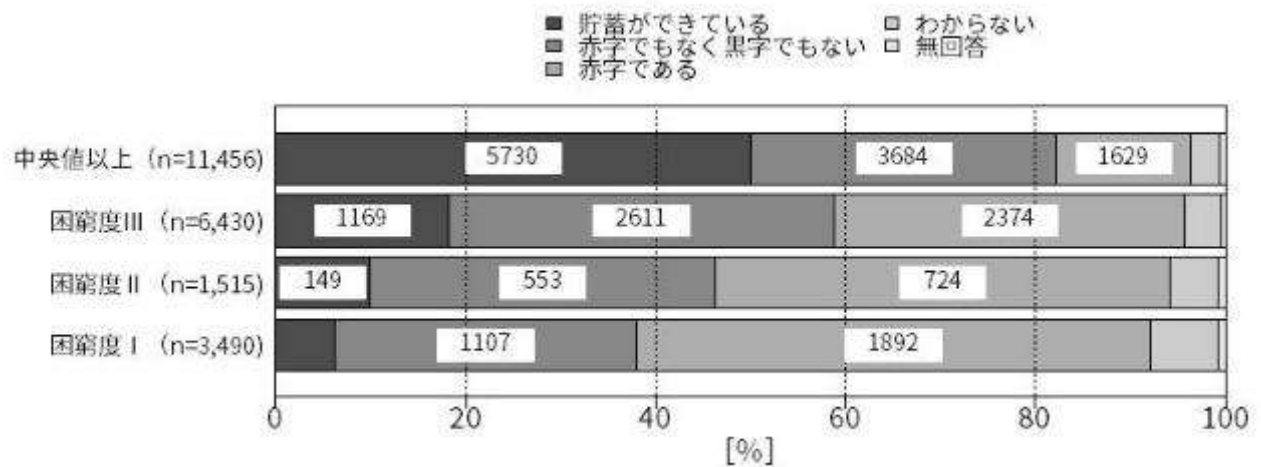


図 120. 困窮度別に見た、自家用車の所有

困窮度別に自家用車の所有を見ると、中央値以上群では、車を所有している世帯が 84.1%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では 41.0%であった。

困窮度別に見た、家計状況（保護者票 問6(1)）

<大阪市24区>



<大阪市此花区>

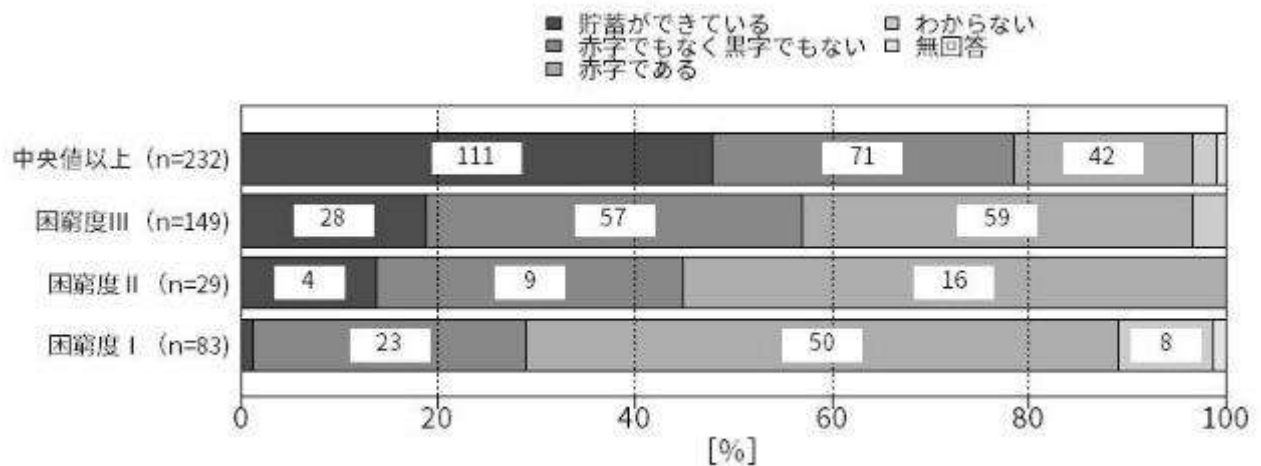
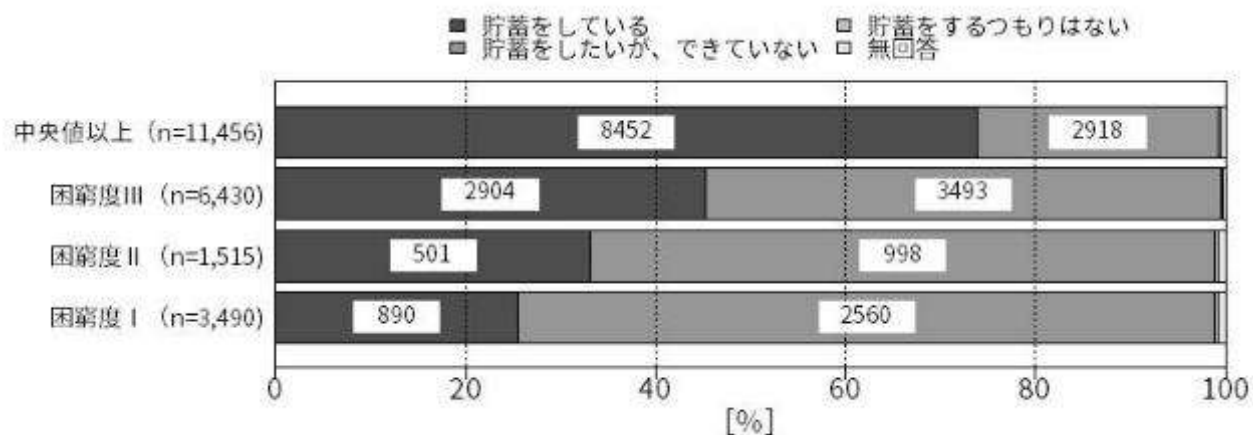


図 121. 困窮度別に見た、家計状況

困窮度別に見た家計の状況を見ると、中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、18.1%であったのに対して、困窮度Ⅰ群では、60.2%であった。

困窮度別に見た、子どものための貯蓄（保護者票 問 6(3)）

<大阪市 24 区>



<大阪市此花区>

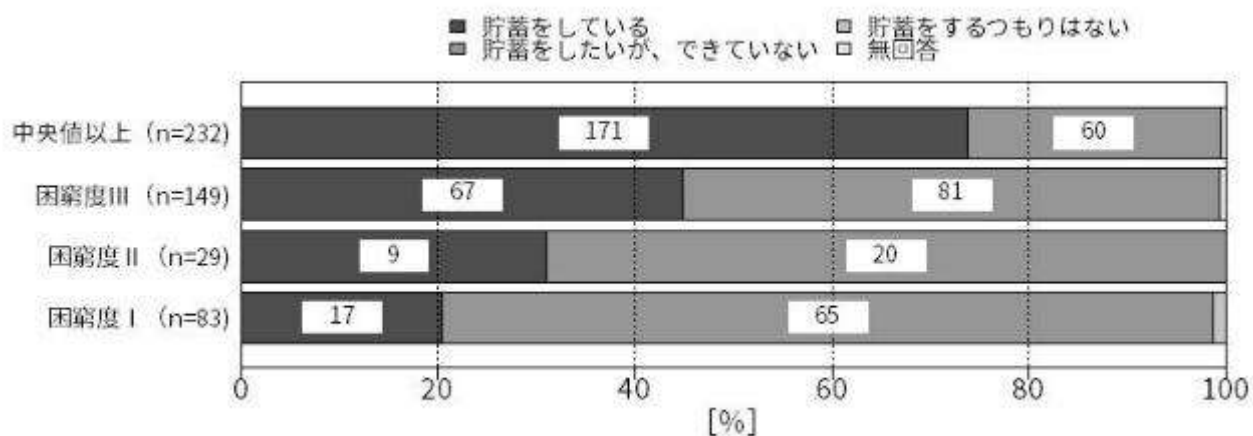


図 122. 困窮度別に見た、子どものための貯蓄

困窮度別に子どものための貯蓄を見ると、中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が 73.7%であったが、困窮度Ⅰ群では 20.5%であり、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答する割合が 78.3%であった。